

第 部 集落タイプ別の状況

住宅集落
町型集落
(農業系集落)
純農業(純農村)集落
農住混合集落

第 部 集落タイプ別の状況

- 1 . 集落における様々な問題の発生状況について

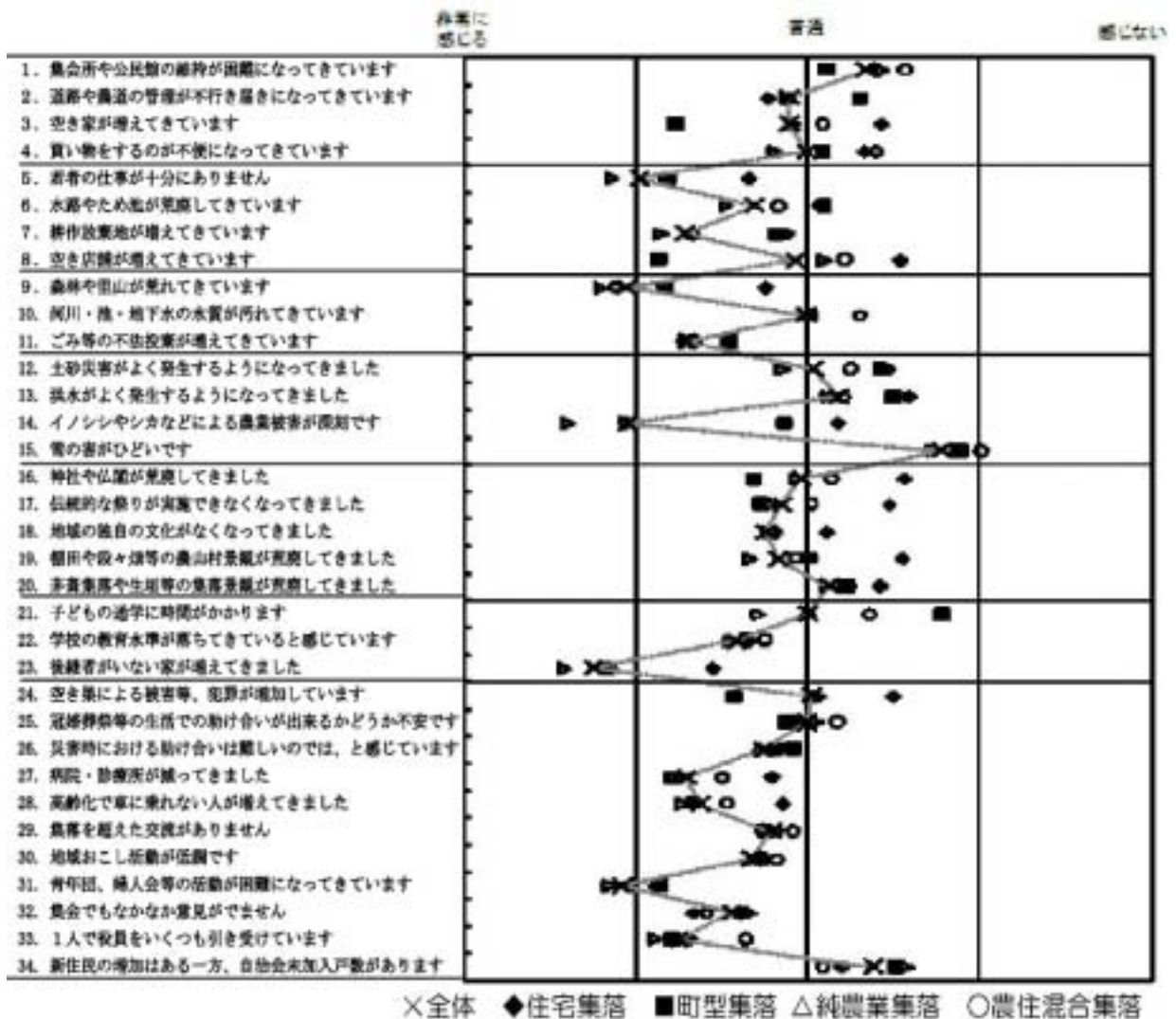
OnePoint. 1 集落タイプで、問題状況に違い

集落の問題は多方面にわたるが、集落タイプ別にみると、町型集落では「空き家」「空き店舗」の増加問題が強く感じられており、それに伴い「(空き巣など)犯罪の増加」の心配が平均より多いなど、総じて問題が顕著である。

一方、住宅集落では、農業系集落(純農業集落・農住混合集落)に比べそもそも集落環境が異なり里山・田畑を巡る問題などが少なく、相対的には抱えている問題が多くない。

農業系集落は、丹波地域の集落の約80%を占め、ほぼ平均的な問題状況にある。

問1. 貴集落では、以下の問題や現象がどの程度、発生していますか? 以下の34項目それぞれについて、「非常に感じる」から「感じない」の5段階のうち、いずれかに印をお付け下さい。



- 2 . 集落における土地の使われ方について

OnePoint. **2** 純農業・町型集落で「空家」比率が高い

平均すると集落には3軒程度の「空き家」があるが、純農業集落・町型集落では特に発生比率が高い。

問2 - 1 . 貴集落における「空き家の戸数」と「放棄田畑の面積」を、おおよそでお答えください。

< 空き家の数と比率（軒、世帯） >

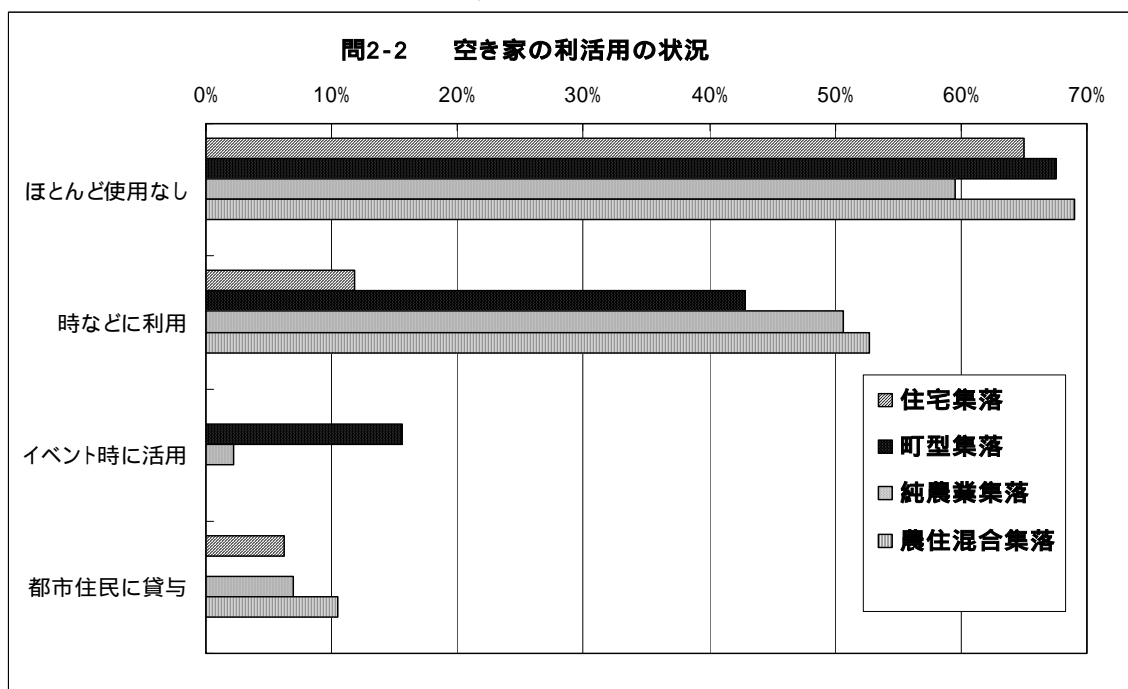
集落タイプ	平均空き家数	推定世帯数	100世帯当たり空き家数
住宅集落	3.8	136	2.8
町型集落	5.4	105	5.1
純農業集落	2.8	54	5.2
農住混合集落	3.4	100	3.4
全体	3.4	75	4.5

推定世帯数：両市の集落別世帯数データから推定。

OnePoint. **3** 農業系や町型集落で多い - 「帰省時に利用」

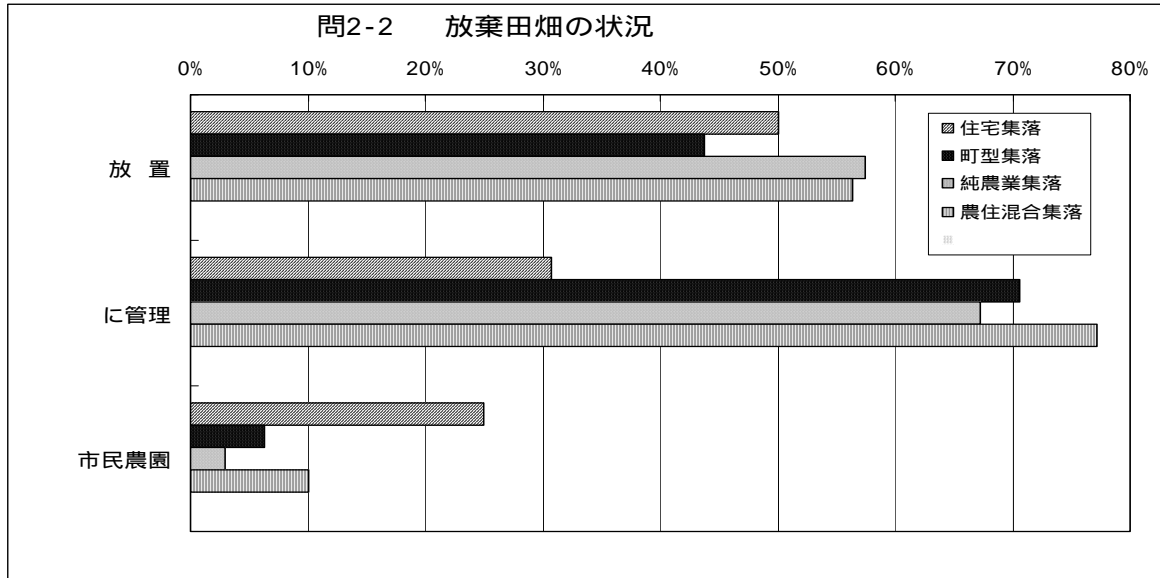
6割強の集落で「利用されていない」空き家がある。また、農業系集落や住宅集落では「帰省時に利用」空き家が多く、町型集落では「イベント時に活用」がいくらか多い。

問2 - 2 . 「空き家」「放棄田畑」の利活用の有無について、「ある」ものには、「ない」ものには×でお答えください。



OnePoint. 4 住宅集落では、放棄田畑を「市民農園」に活用

農業系集落・町型集落では耕作放棄田畑は「放置」又は「定期的に管理」であるが、住宅集落では「放置」は他の集落タイプと同水準だが、「定期的に管理」が少なく「市民農園」での利用が多い。

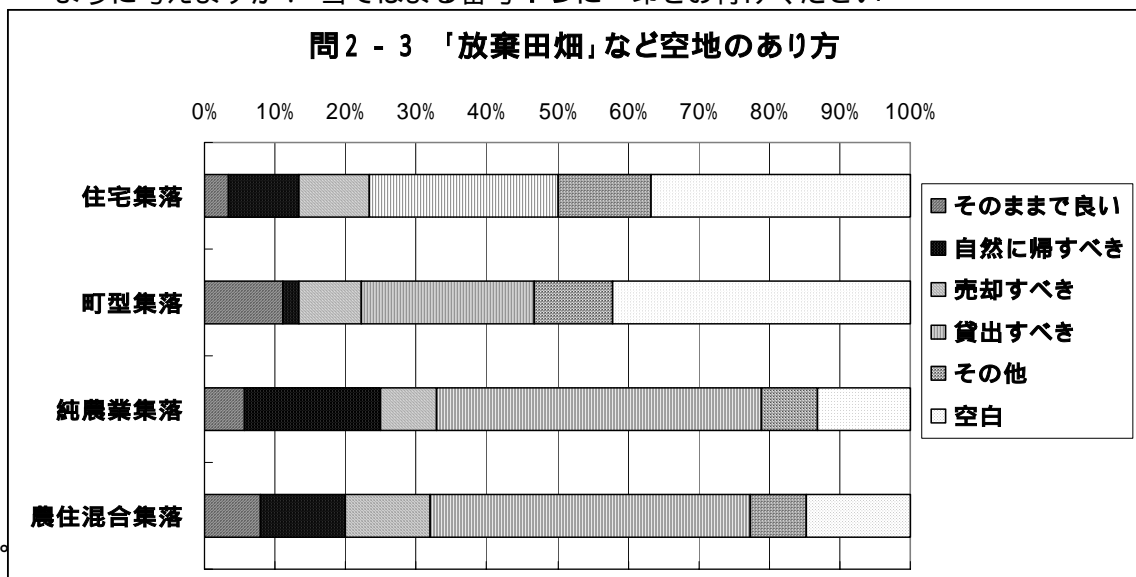


OnePoint. 5 農業系集落で、空地は「貸出す」が多い

農業系集落では、耕作放棄田畑などの空き地は「貸出すべき」との声が45～50%で特に多い。

町型集落では、他の集落タイプに比べ「そのままが良い」がやや多く、「自然に帰す」が少なかった。

問2-3 「放棄田畑」など、使われていない空き地などの今後のあり方について、どのように考えますか？ 当てはまる番号1つに 印をお付けください

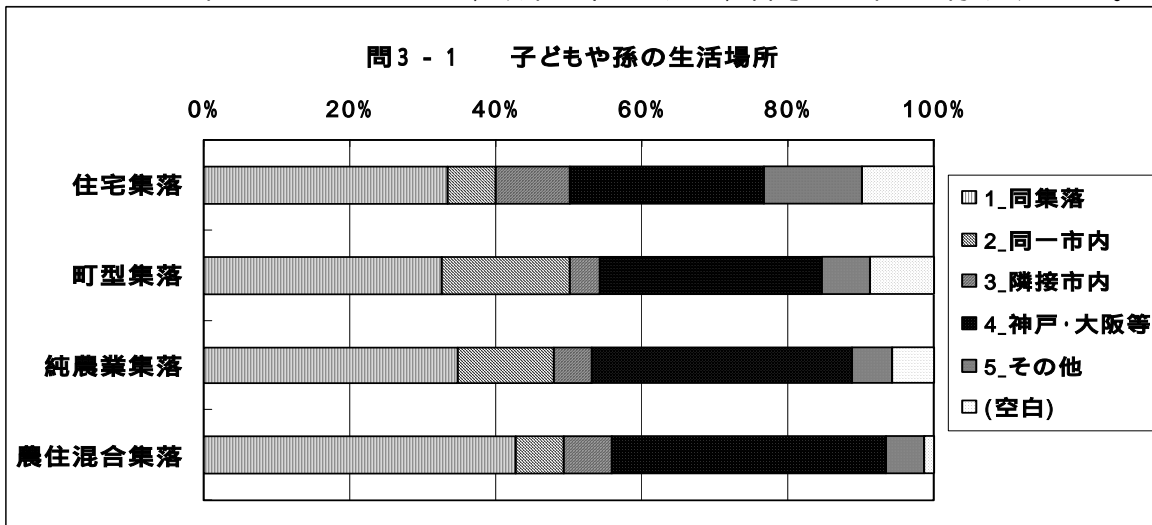


- 3 . 家族および集落の動向について

OnePoint. **6** 農住混合集落は、子供が「同集落」がやや多い

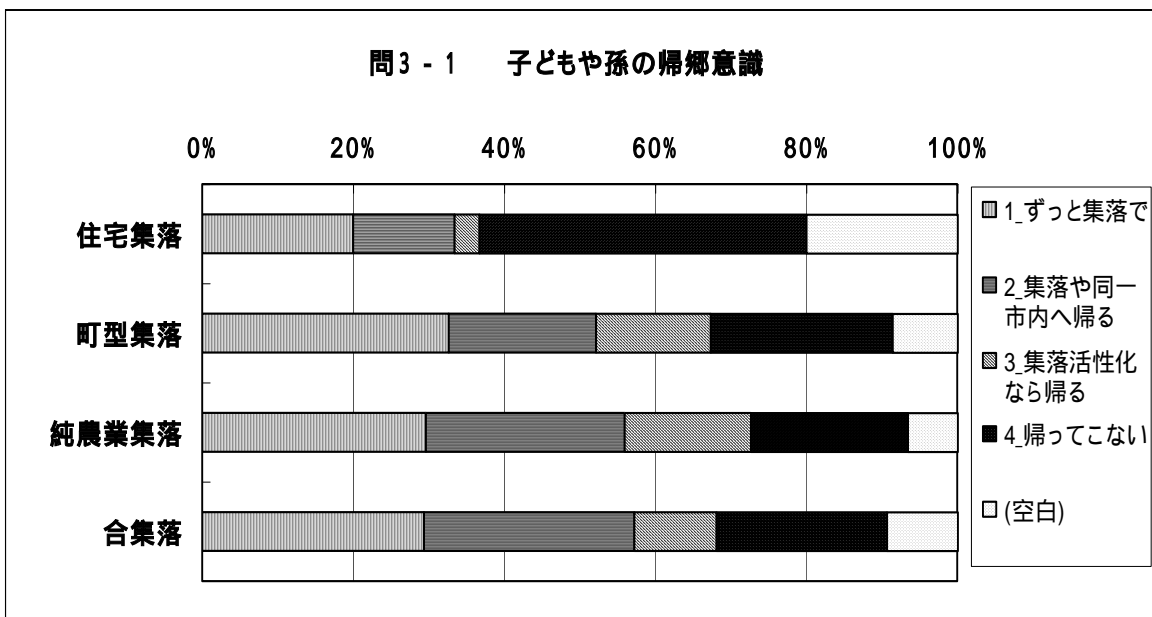
子どもや孫は、全体的に「同集落」か「神戸・大阪」に居住との傾向の中で、町型集落では「同一市内」に居住が2割程度とやや多く、農住混合集落では「同一市内」がやや少なく「同集落」に暮らす割合がやや多い。

問3 - 1 . あなたのお子さんやお孫さんなどの現在の生活場所並びに帰村意識について、それぞれ当てはまるものを1つ、以下の中から選び、番号に 印をお付けください。



OnePoint. **7** 住宅集落では、子供の“帰郷意識”が薄い

子供や孫の帰郷（帰村）意識では、町型集落及び農業系集落では「ずっと集落内に居住」が多く、これに「いずれは集落又は同一市内に帰る」「集落が活性化すれば帰る」を加えると約65%程度にはなる。ところが、住宅集落では「帰ってこない」が40%を超えるなど、“帰郷意識”がかなり低いようだ。



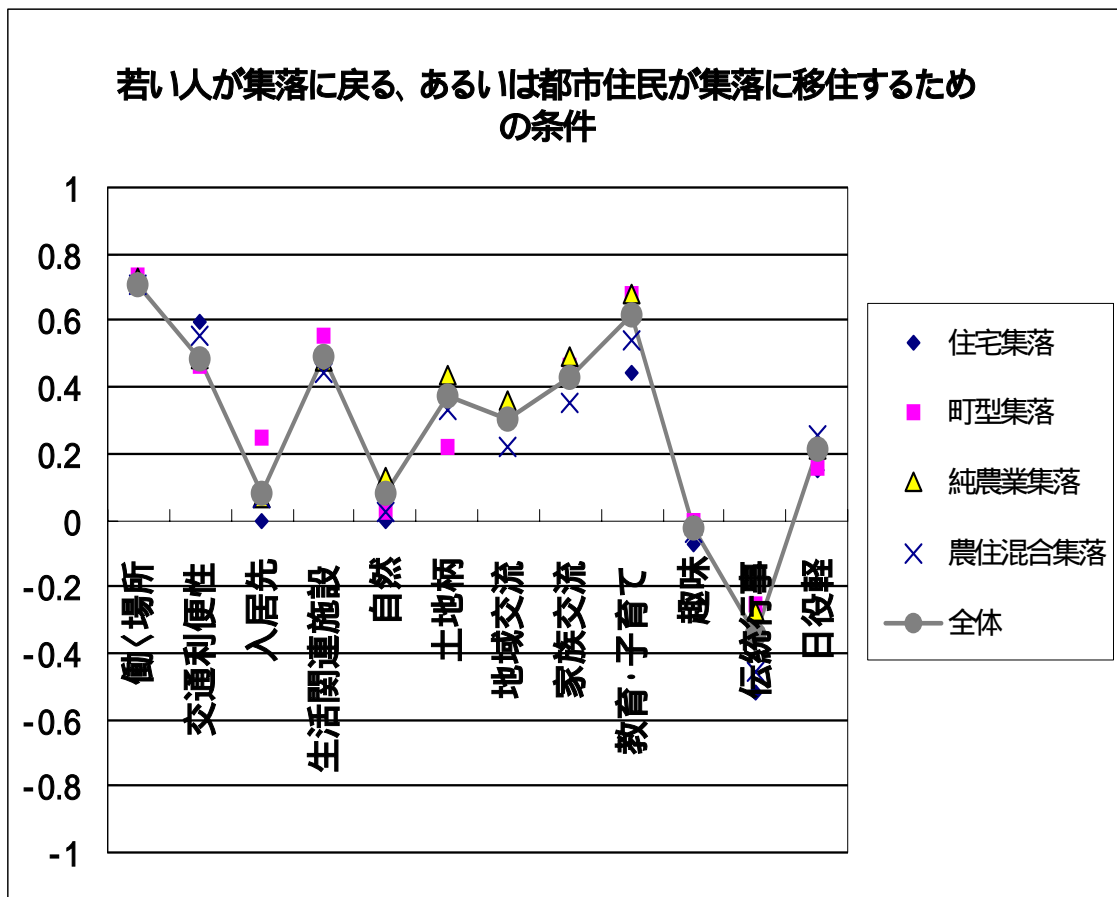
OnePoint. **8** “ 集落へ戻り移住する条件 ” は、
集落タイプで「子育て」「土地柄」等に少し開き

集落に若い人が戻り都市住民が移住するには、「働く場所」「教育や子育て」「生活関連施設」「交通利便性」が条件とされ、集落タイプ別にあまり大きな差はない。

しかし、住宅集落では「教育や子育て」がやや低い。

また、町型集落では建て詰まりのためか「入居先」がやや高く、また比較的開放的なためか「土地柄や地域の雰囲気」はやや意識されていないようだ。

問3 - 2 . 血縁関係のある若い方々が集落に戻ってくる条件、あるいは都市住民が集落に移住する条件について、以下の12項目それぞれについて、「当てはまる」「やや当てはまる」「当てはまらない」の3段階のうち、当てはまる番号に 印をお付けください。



(注) 左の軸の点数が高いほど「当てはまる」という意向が高い。

OnePoint. 9 運動会・文化祭以外は、農業系では「集落単独」で

集落間連携の状況では、「神社の祭・管理」をみると農業系集落では“集落単独”が50%強、“近隣集落との連携”が40%強である。一方、町型集落ではこの比率が30%強、50%強と逆転。住宅集落では、実施自体が下がる。

「運動会」は各集落タイプを通じ、70～80%が“小学校区”で実施。

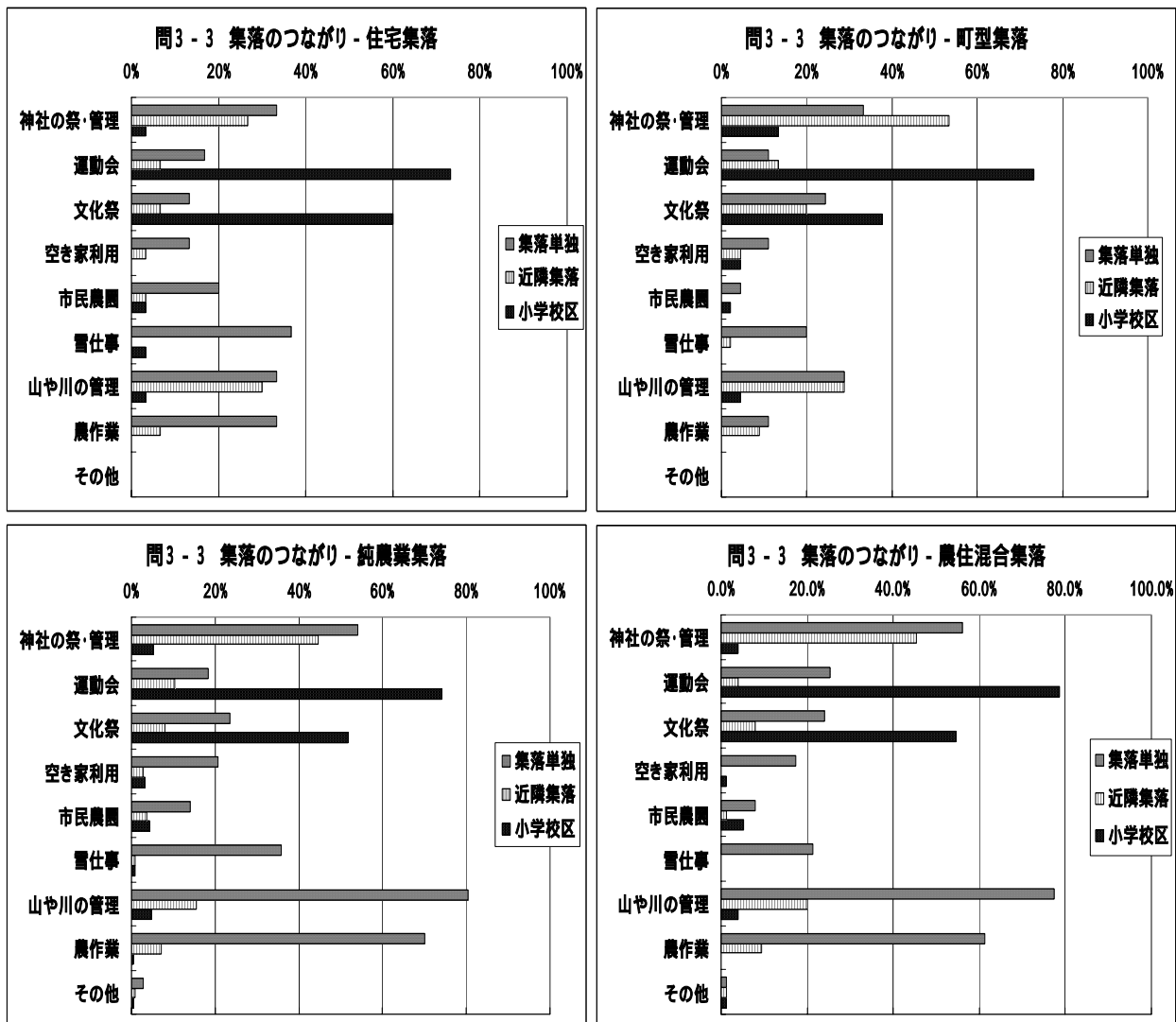
「文化祭」は各タイプを通じ、“校区”での実施がやや下がって40～60%となる。

「山、川の管理」は農業系集落では“集落単独”が約80%と主だが、住宅集落や町型集落では“集落単独”と“近隣集落”とが30%で並び、また実施率そのものが下がる。

「農作業」は農業系集落で“集落単独”が70～80%と多く、その他のタイプでは実施が多くない。

全体的に「運動会」「文化祭」以外では、農業系集落で“集落単独”が多く、住宅集落と町型集落で実施自体が下がり、その中で町型集落で“近隣集落との連携”がやや目立つ。

問3-3. 集落同士の繋がりについてお伺いいたします。以下の項目について、自治会単独で行っているもの、もしくは他の集落と協力しあって実施している項目に 印をお付けください。



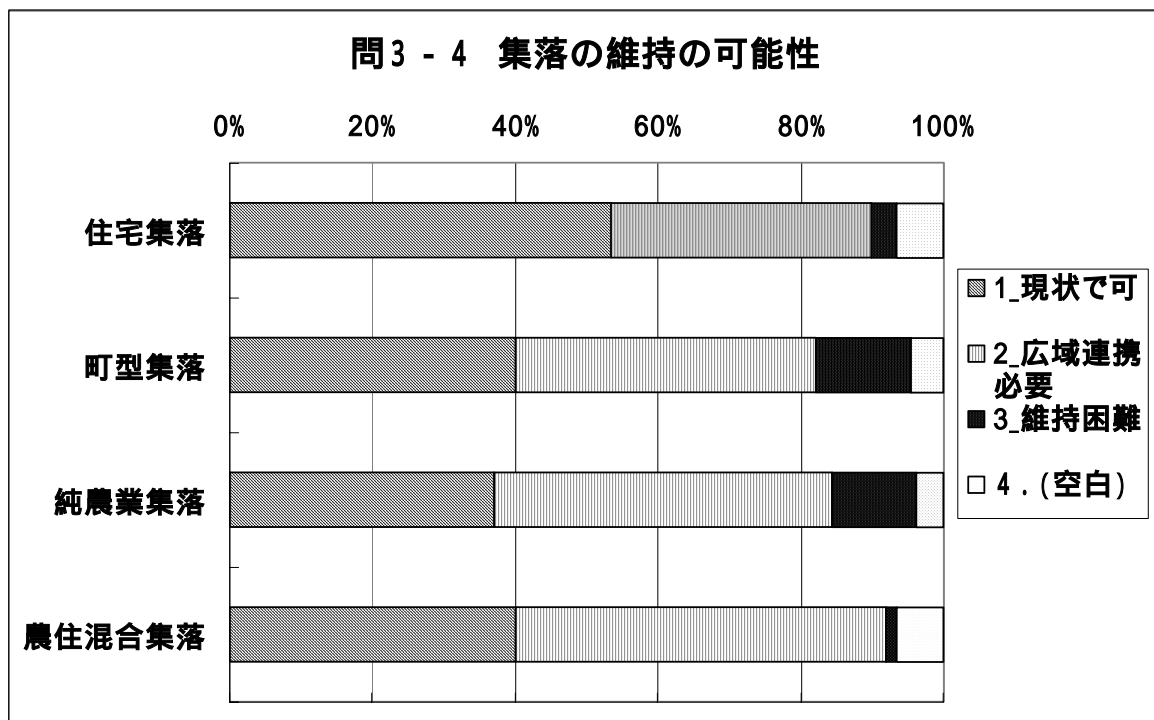
OnePoint.10 農住混合集落で「広域連携 必要」が多く、
町型・純農業集落で「維持 困難」が目立つ

集落の維持については、「現状で維持できる」と「広域連携が必要」とが各々40～50%を占め、回答をほぼ二分している。

その中で、住宅集落では「現状で維持できる」が、また農住混合集落では「広域連携が必要」が、いずれも50%ほどとやや多かった。

一方、「努力しても維持は困難」が、町型集落と純農業集落とで10%強～15%ほどあるが目立ち、この2タイプは深刻な問題を抱える集落をより多く含むと推定される。

問3 - 4 . 集落の今後について、当てはまるものの番号1つに 印をお付けください。



- 4 . 地域資源について

OnePoint.12 トップは住宅集落で「遊び機能」、他は「修景」

取り組んでみたい事業では、各集落タイプで「新たな取組は困難」との答えが40%強と多い。

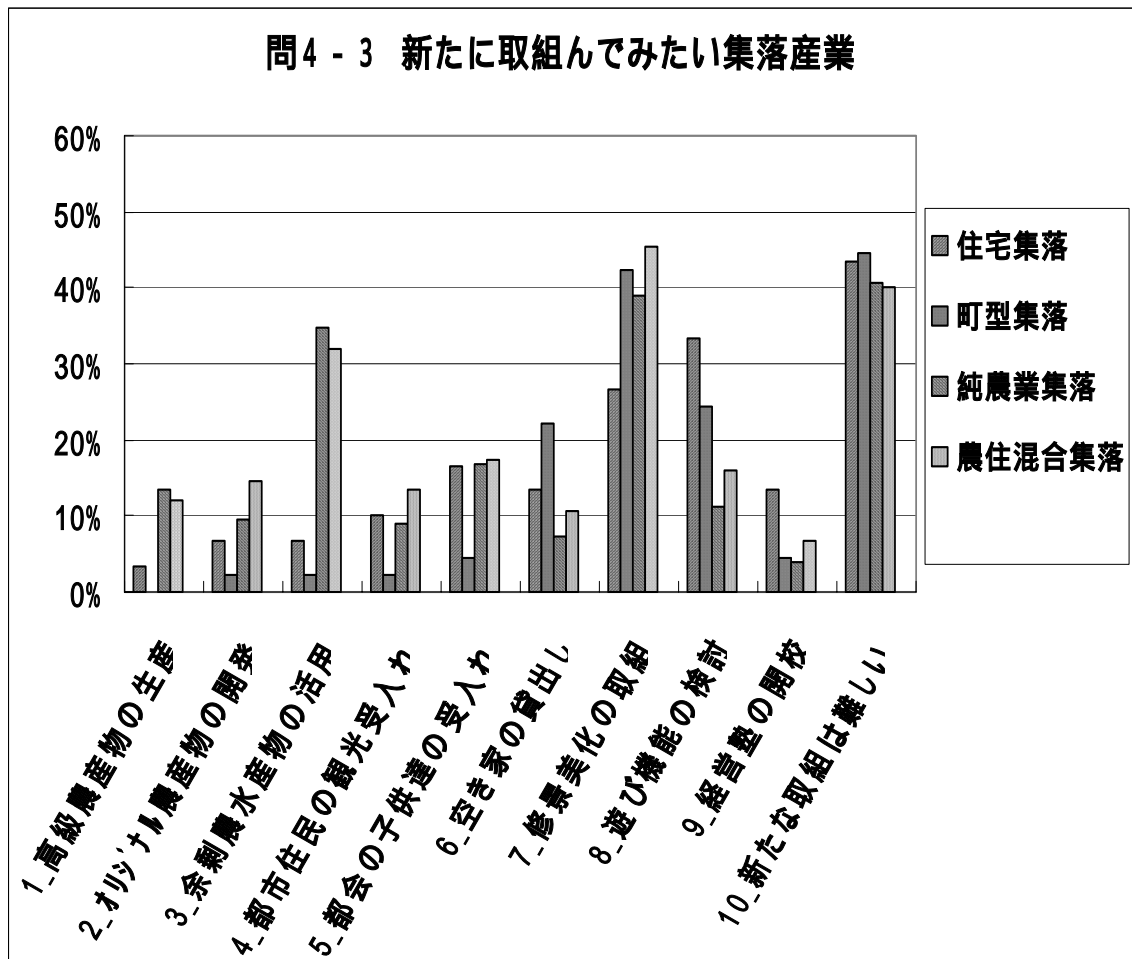
一方、取り組むとの回答では、町型集落と農業系集落とでは「修景美化」が、住宅集落では「（魚づかみや映画上映などの）遊び機能」がトップである。

住宅集落では、第2位が「修景美化」である。

農業系集落では第2位が「余剰農水産物の活用」で、その他の順位を含めやはり“農産物系の取組”の希望が多い。

また、町型集落では、第2位に「遊び機能」が、第3位に「空き家の貸出し」が入る。

問4 - 3 . 今後、集落産業として新たに取り組んでみたい事業について、以下の中から3つに 印をお付けください。



(問4 - 1・2及びone point11は、省略)

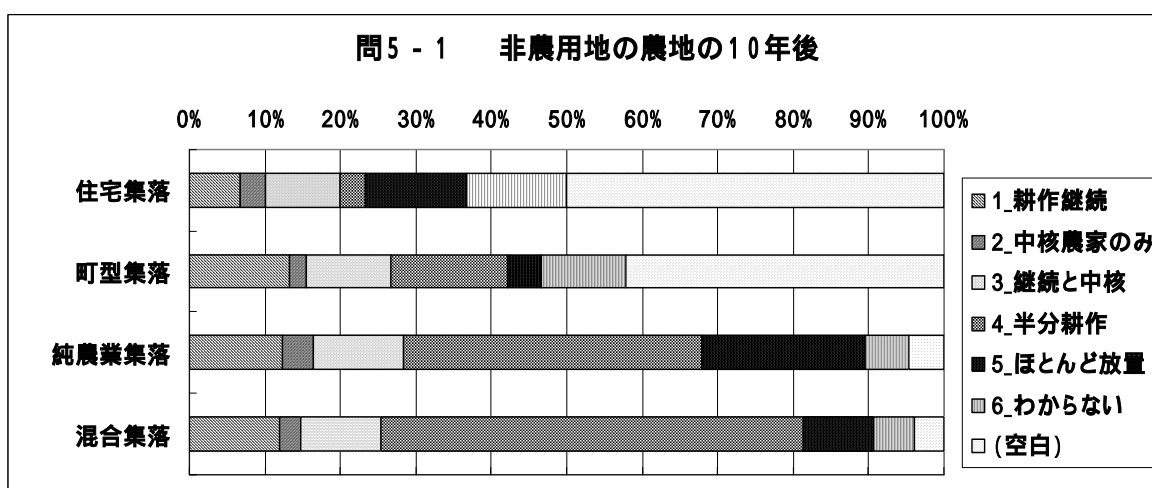
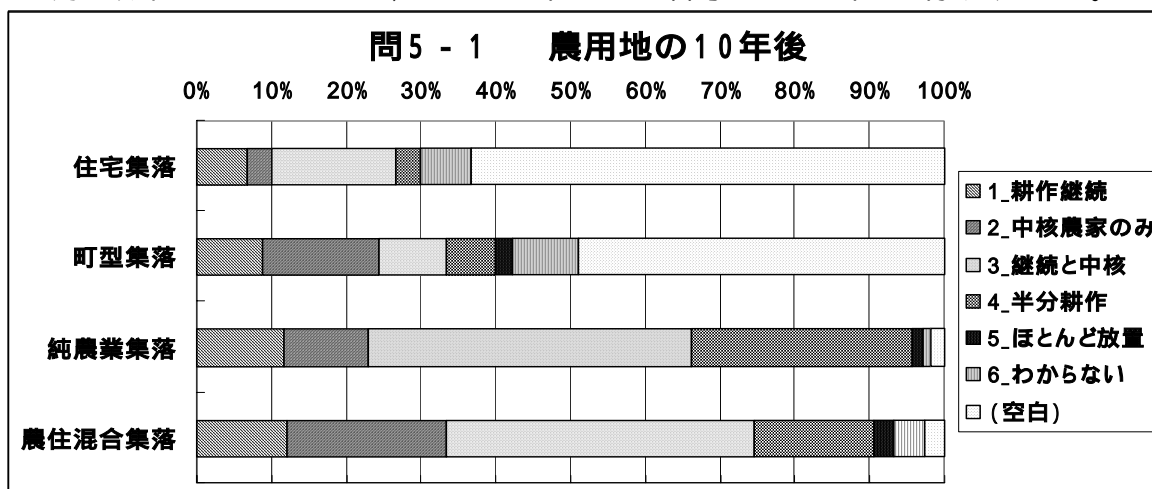
- 5 . 農地の自己管理について

OnePoint.13 農業系集落では、今後も“農用地”を保全

“農用地”の管理の10年後は、住宅集落や町型集落では「無回答（空白）」「わからない」が多く、見通せないようだった。一方、農業系集落（純農業集落・農住混合集落）では見通しが示され、「各農家の耕作継続と中核的農家への委託とが半分ずつ」が約40%強でトップ。第2位は、純農業集落では「半分程度が耕作継続・・・、残りは荒れている」、農住混合集落では「ほとんどが中核的農家への委託」で、共に他方よりも10～15ポイント多い。微妙だが、農住混合集落の方で中核農家への期待がやや高く、純農業集落の方ではやや悲観的な見方に傾いているようである。

一方、“非農用地”の農地の10年後は、比較的回答があった農業系集落で「半分程度が耕作継続・・・、残りは荒れている」が40～55%、「ほとんど放置」が10～20%と“農用地”より大幅に増え、“農用地”の方が“非農用地”より保全されるとの見通しが高かった。

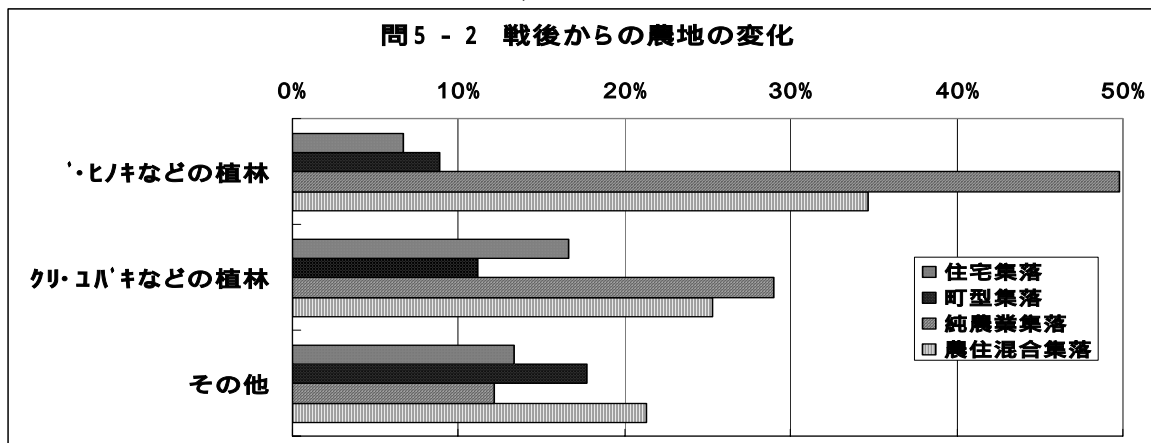
問5-1. 貴集落では農地は、10年後、どうなっていくと思われますか？ 農用地 と 農用地以外の土地 について、それぞれ当てはまる番号1つに 印をお付けください。



OnePoint.14 主に農業系集落で、戦後から農地に「植林」

戦後から「スギやヒノキの植林」をした農地があるのは、純農業集落、次いで農住混合集落で際だって多い。「クリやツバキなどの植林」も、ほぼ同傾向。

問5 - 2.戦後からの農地の利用について、当てはまる番号すべてに 印をお付けください。

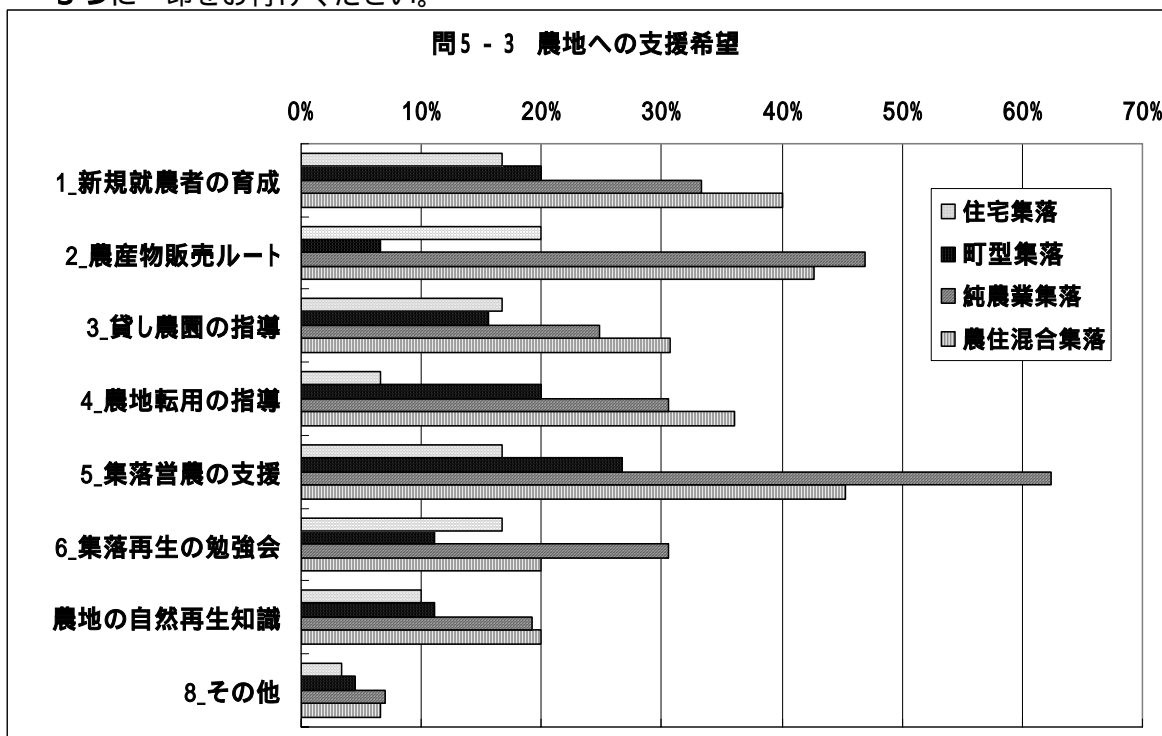


OnePoint.15 農業系集落で高い“農地支援希望”。だが温度差も・・・

農地への支援については、全般的に農業系集落で希望が高い。

その中で純農業集落の方が「集落営農指導」「販売ルート充実」「集落再生勉強会」と“農業そのもの”への支援をより希望、一方、農住混合集落では「新規育成」「農地転用指導」「貸し農園指導」と“自ら耕作しなくてよい”方向での農地への支援の希望が多い。

問5 - 3.農地に関して、あなたはどのような支援を望まれますか？特に当てはまるもの3つに 印をお付けください。



- 6 . 集落における自治会組織や小学校区運営について

OnePoint.16 「意識改革」「女性登用」などで、集落タイプで差

全体的に最も多いのは「住民の意識改革」だが、住宅集落で70%強と特に高く、農業系集落が約60%で続き、町型集落では45%と下がる。

次いで多い「女性の登用」では、町型集落では65%強と最も高い。続いて農業系集落では40~50%で、一方、住宅集落では30%強と町型集落の半分になる。

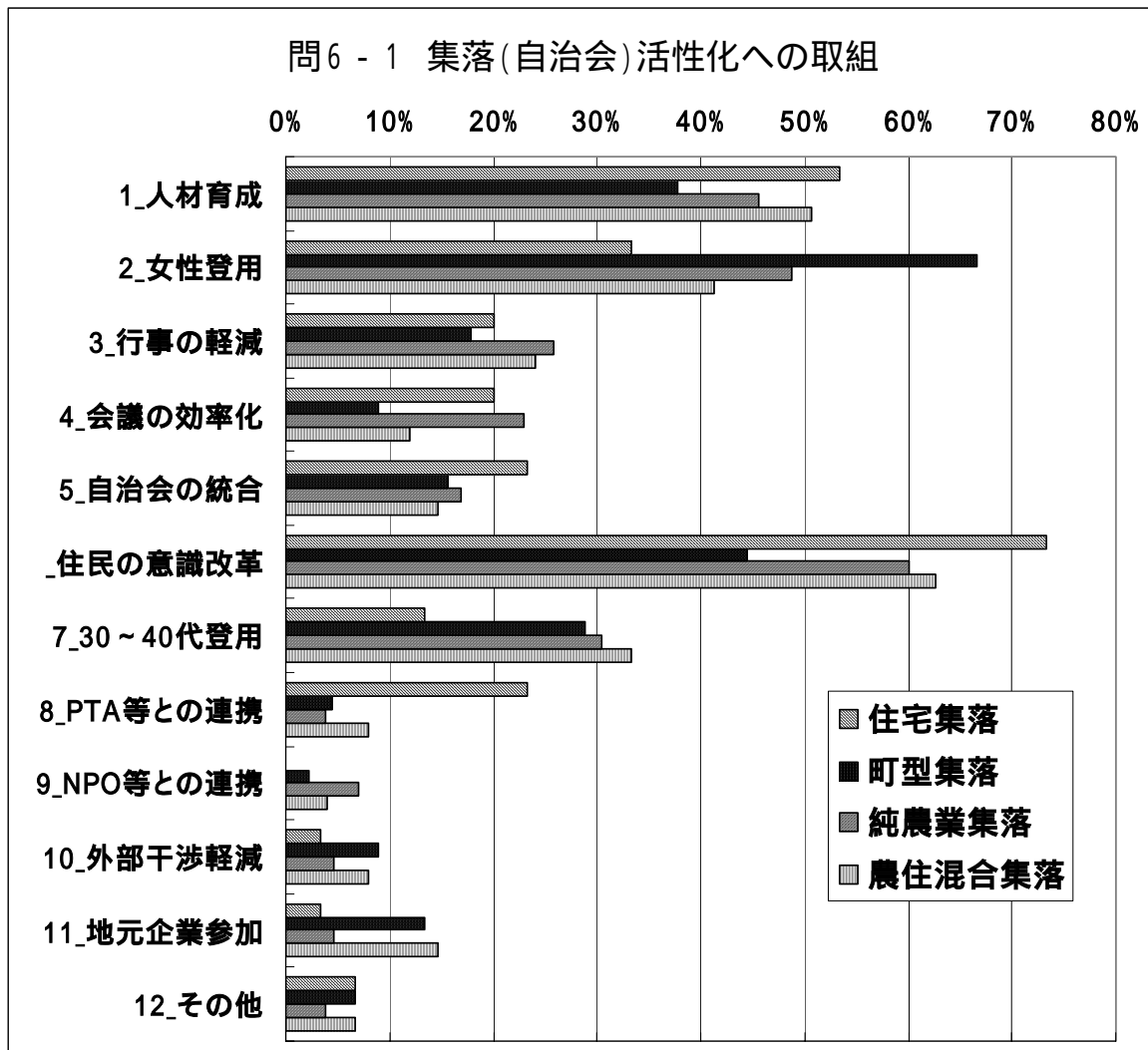
続いて「人材育成」が多く、住宅集落、農業系集落、町型集落の順で高い。

「30~40代登用」であるが、これは農業系集落と町型集落とで高く、住宅集落ではかなり下がる。

以上の上位4項目は、“住宅集落先頭型”の「住民の意識改革」「人材育成」と、“町型集落先頭型”の「女性の登用」「30~40代登用」との2パターンに分かれた。

なお、住宅集落では、「PTA」が連携先としてやや高い。

問6-1. 今後、自治会組織を活性化する上で必要な取り組みは何ですか。特に当てはまる番号3つに 印をお付けください。



OnePoint. 17 町型集落で、「高齢者の生きがい」がとりわけ高い

集落を活性化し住みよい環境にしていくために、まず「高齢者の生きがい」が多いが、中でも町型集落では他のタイプよりも20ポイントも高く80%に達する。

続いて多いのが「人材育成」だが、やはり町型集落でやや多い。

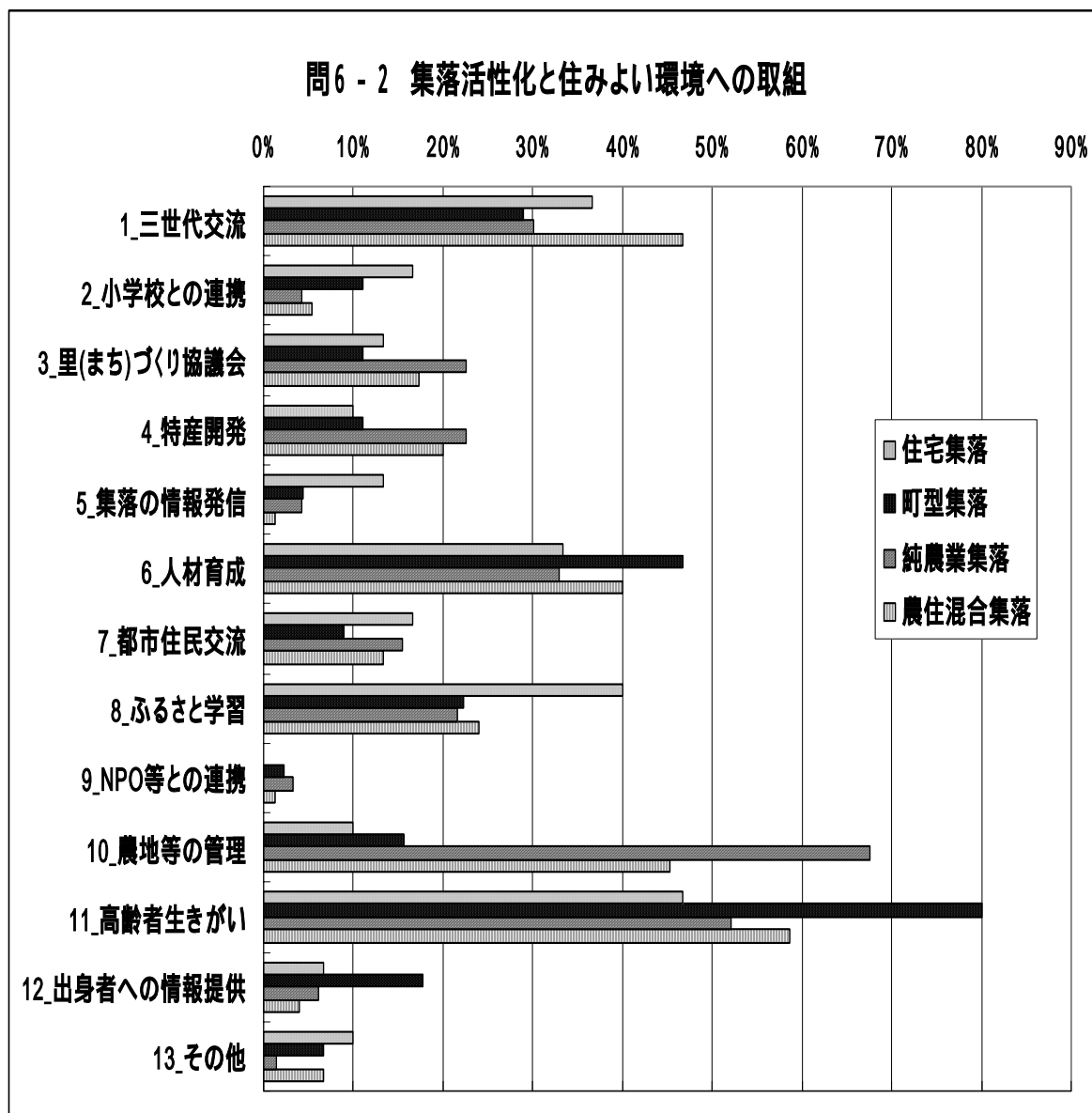
これらに並んで「三世代交流」が多く、農住混合集落でやや多くなっている。

また、「ふるさと学習」が多いが、特に住宅集落では高く第2位・40%で、トップの「高齢者の生きがい」とほぼ並ぶ。先に、住宅集落で若い世代の“ふるさと意識”が薄かったことと関係しているのかもしれない。

さらに、農業系集落では「農地等の管理」が多く、特に純農業集落では「高齢者の生きがい」を抜いてトップ。

「特産開発」「里(まち)づくり協議会」は、農業系集落でやや多くなっている。

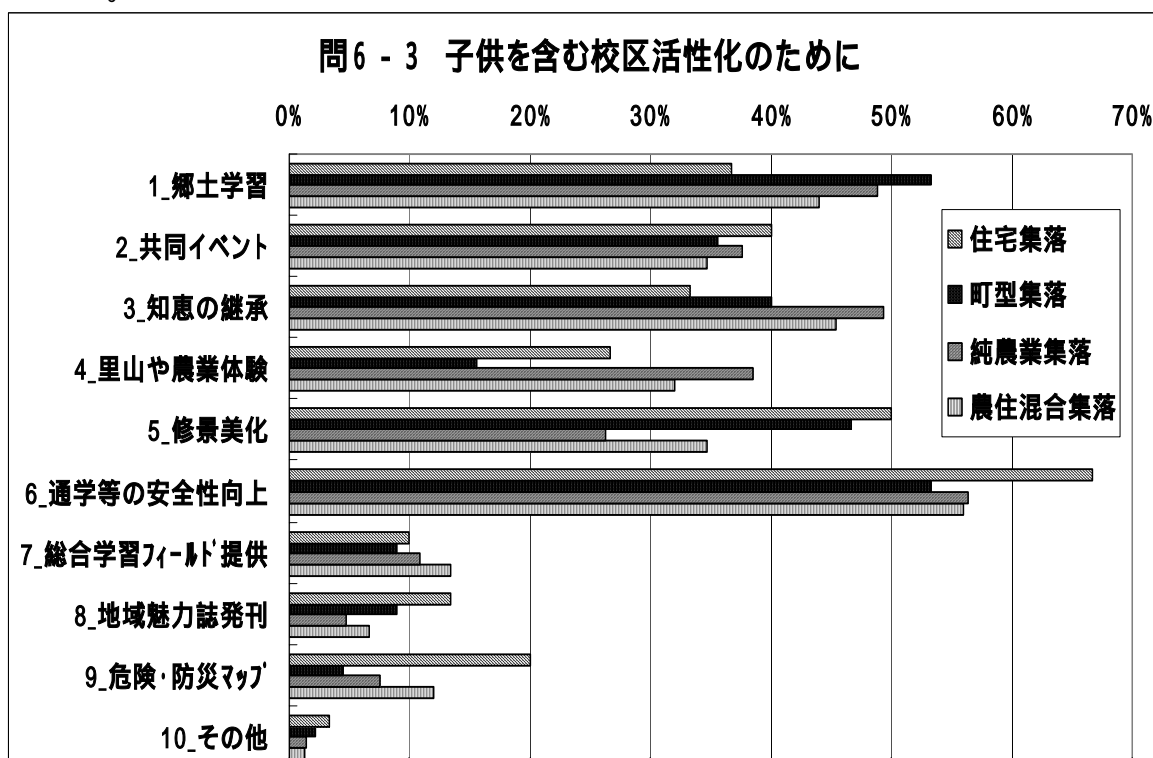
問6-2. 集落を活性化し、より一層、住みよい環境にしていく上で、自治会として必要な取り組みは何ですか。特に当てはまる番号3つに 印をお付けください。



OnePoint.18 住宅集落では「通学路の安全」がやや高く・・・

校区の活性化のためには、「通学路の防犯等の安全」が全般的に最も高く、住宅集落では65%余と特に高くなっている。「郷土学習」は町型集落で、「知恵の伝承」「里山や農業体験」は農業系集落で、「修景美化」は住宅集落や町型集落でやや高い。「共同イベント」は、各集落タイプで共通して比較的高い。

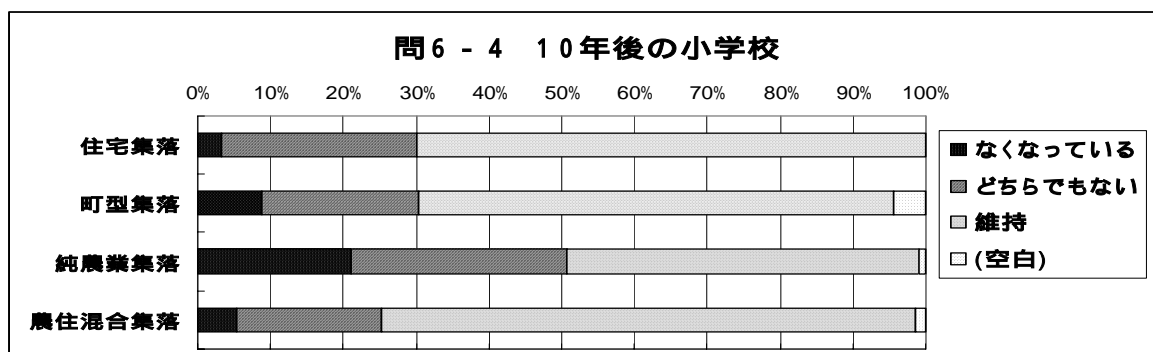
問6-3. 子どもを含めた校区の活性化のために、貴集落が小学校と連携して取り組みたい、または取り組むべき方策は何ですか。特に当てはまる番号3つに 印をお付けください。



OnePoint.19 純農業集落で高い - “小学校存続の危機感”

全体的には、10年後、地域の小学校は維持と考えられているが、純農業集落で「維持」が低く「なくなっている」が他の集落タイプよりも倍以上高く、“危機感”が強い。

問6-4. 10年後、地域の小学校はどうなっていると思われますか？ 当てはまる番号1つに 印をお付けください。



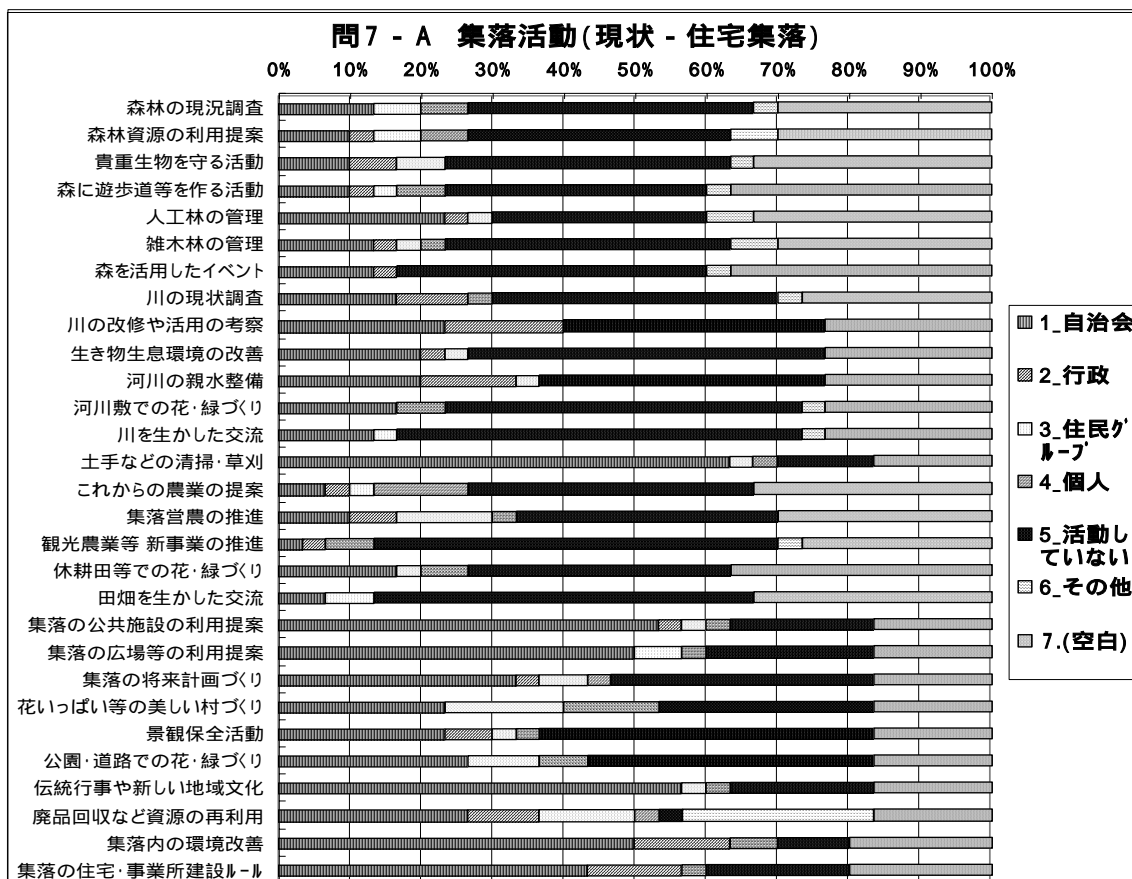
- 7 . 集落の活動について

OnePoint.20 “ 集落運営 ” 活動は、各タイプを通じ活発

各集落タイプで自治会（集落）が主体となって、様々な活動が行われている。
 町型集落・住宅集落では、下記のグラフ（図）の上側の“ 森・川・田畑 ” 関係の項目で「無記入（空白）」が多く活動率が農業系集落に比べ相対的に低い。これは集落環境の違いによるものとみてよいだろう。
 グラフの下側の“ 集落（運営） ” 関係の各項目では、各集落タイプを通じて活発に活動がなされている。

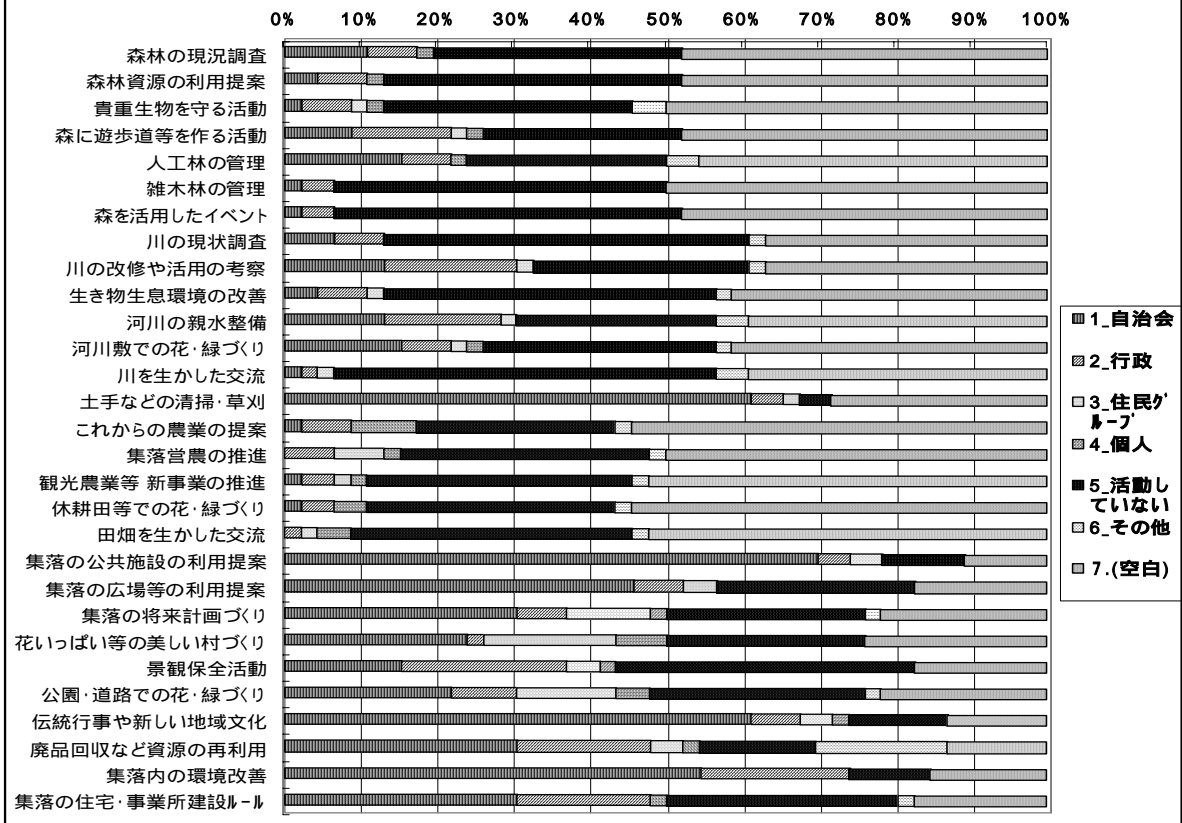
問7 . ここでは、貴集落で実施されている活動についてお伺いします。
 貴集落では、次にあげる地域づくり活動を行っていますか？ それぞれの活動内容について、A 欄、B 欄のそれぞれの行の番号1つずつに 印をお付けください。

【A 欄：現在、主に誰が取り組んでいますか？】

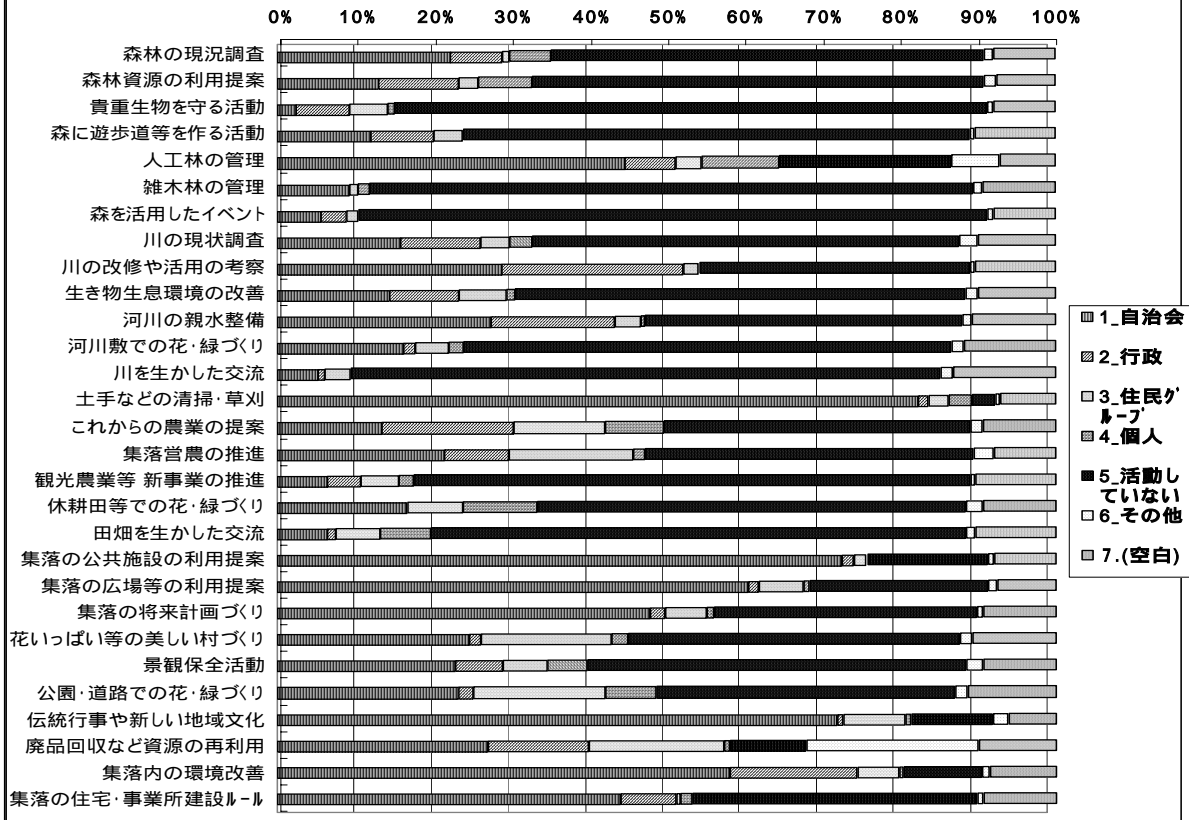


左欄の下方の10項目が、“ 集落（運営） ” 関係。

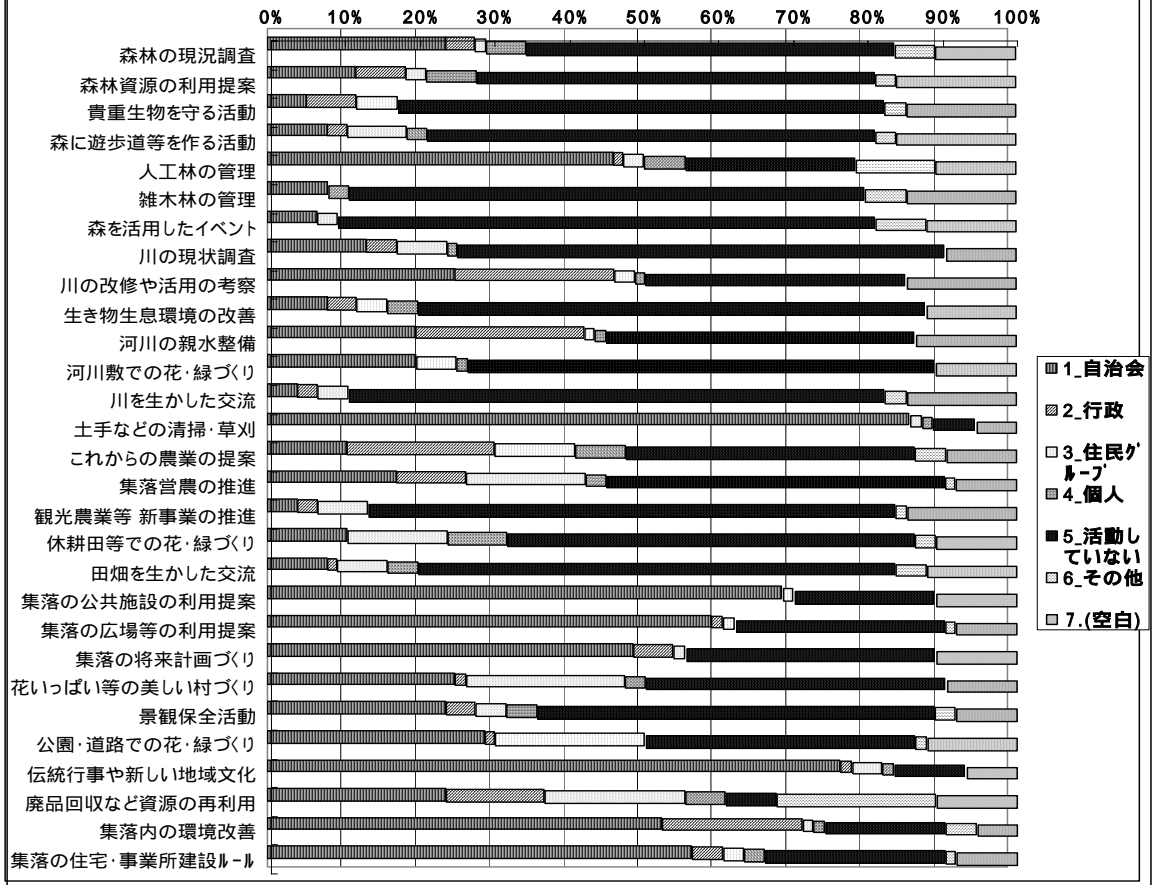
問7 - A 集落活動(現状 - 町型集落)



問7 - A 集落活動(現状 - 純農業集落)



問7 - A 集落活動(現状 - 農住混合集落)



OnePoint.21 今後の“集落運営”活動は、 各集落タイプ共に前向きに

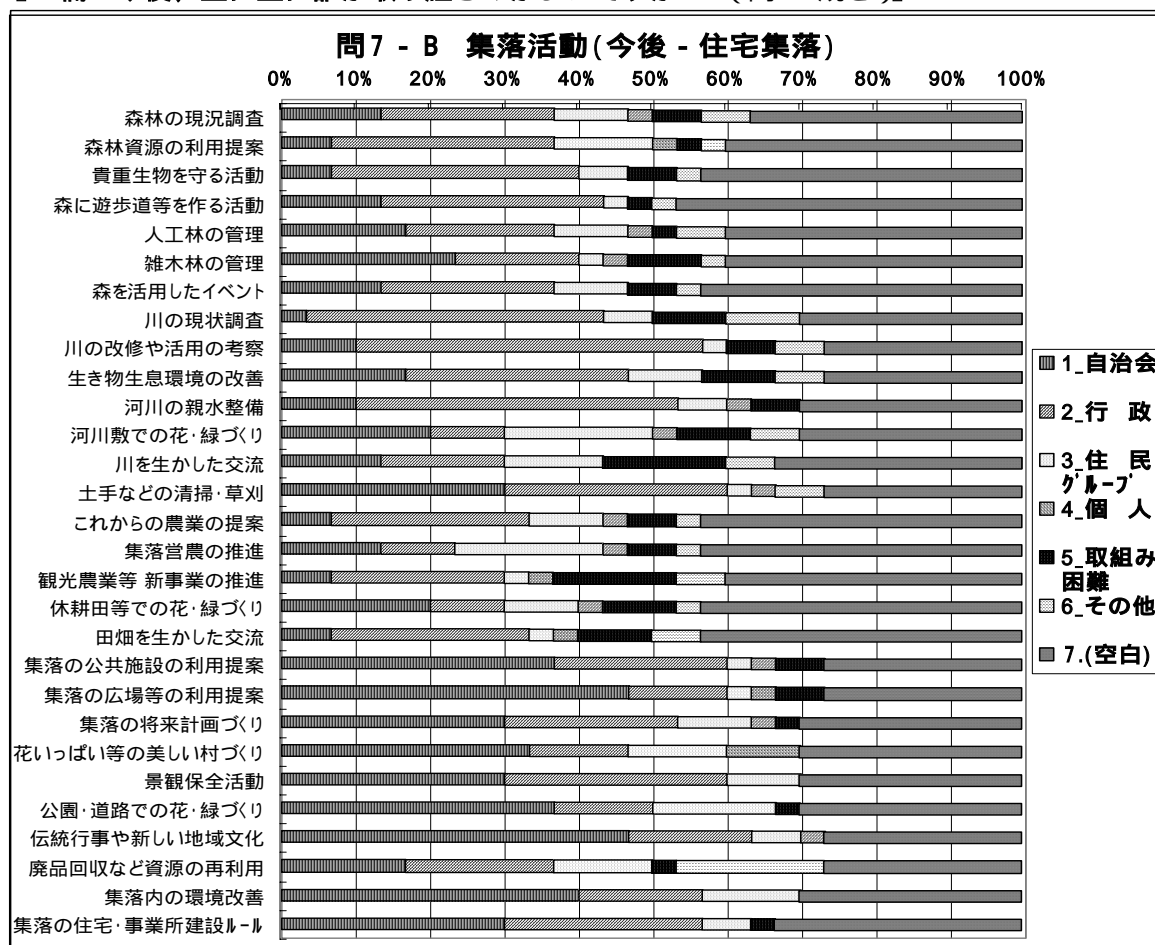
集落活動では、各集落タイプを通じ、現況で「活動していない」との回答が多かった項目でも今後の「取組は困難」が少なく、「行政」「住民グループ」が主体になることへの期待は高いものの、活動の展開自体は望ましいとの“前向きの意向”がみられる。

実施意向が各集落タイプの半数近くを占めるのは、4タイプ共通では「集落の広場等の利用提案」「伝統行事などの地域文化」、また行政への期待では「川の改修など」である。

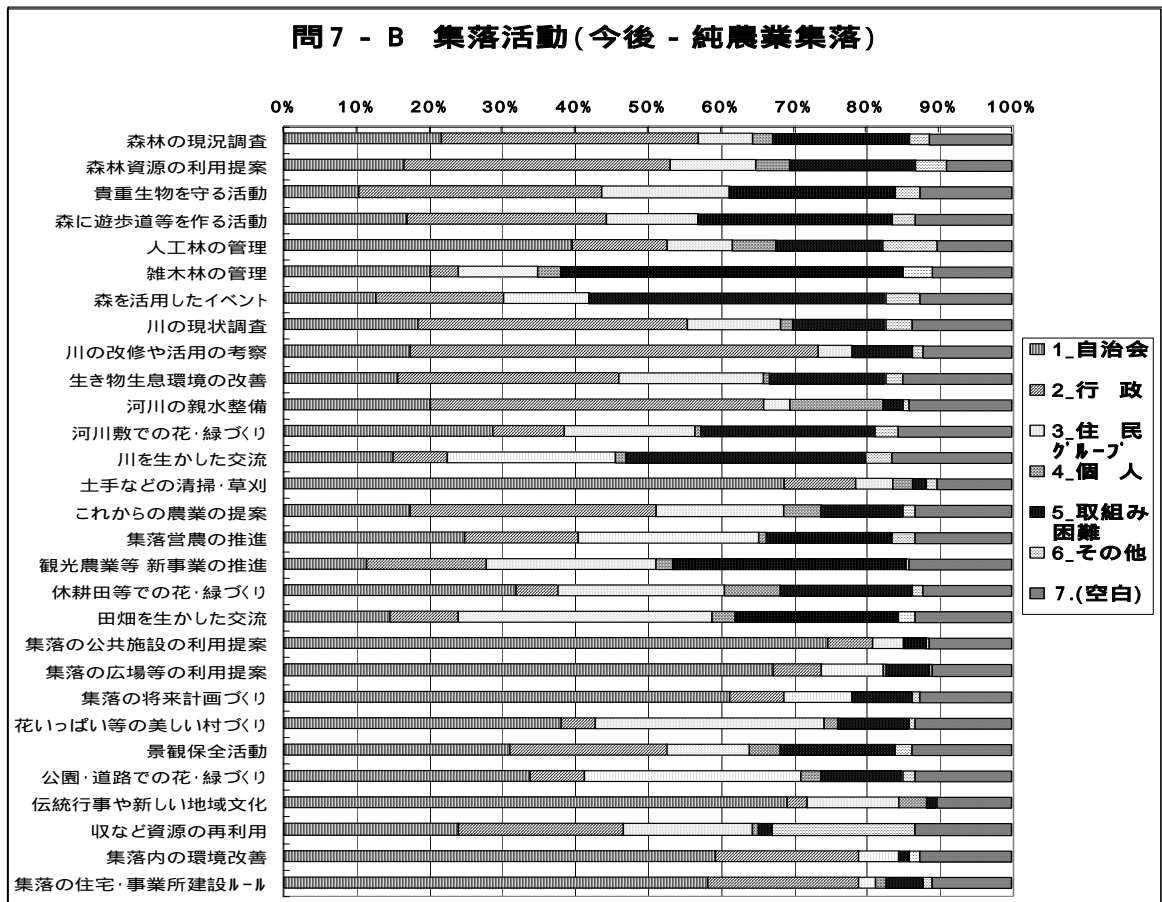
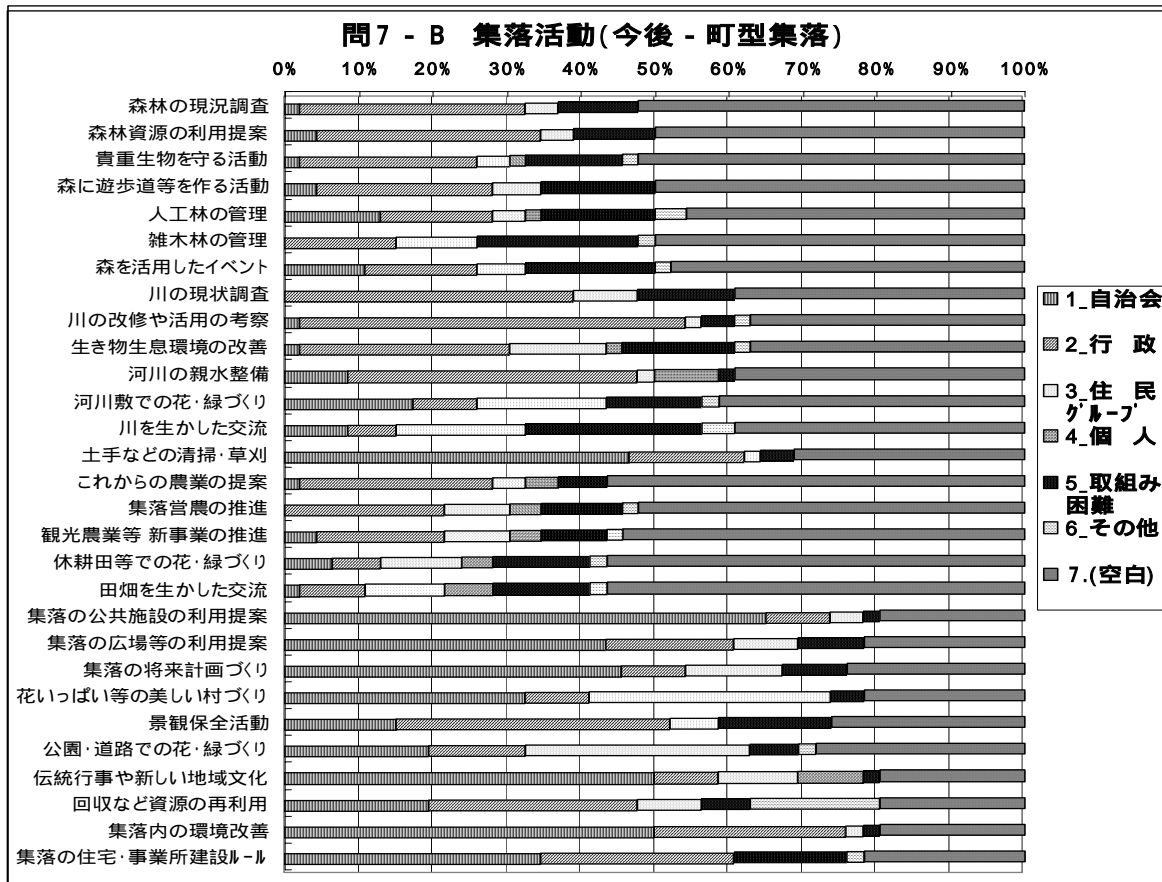
さらに、住宅集落を除く町型・農業系集落では「土手清掃や草刈り」「集落の公共施設の利用提案」「集落の将来計画づくり」「集落内の環境改善」、農業系集落では「集落の住宅等の建設ルールづくり」及び主に行政が主体となることが期待されている「河川の親水整備」が高い。

下のグラフ(図)の下方に並ぶ集落(運営)関係の項目では、子供会など他団体での取り組むことが多い「資源の再利用」を除いて、各集落タイプを通じ総じて自治会(集落)で取り組むとの前向きの傾向がうかがえる。

【B欄：今後、主に主に誰が取り組むのがよいですか？（問7 続き）】

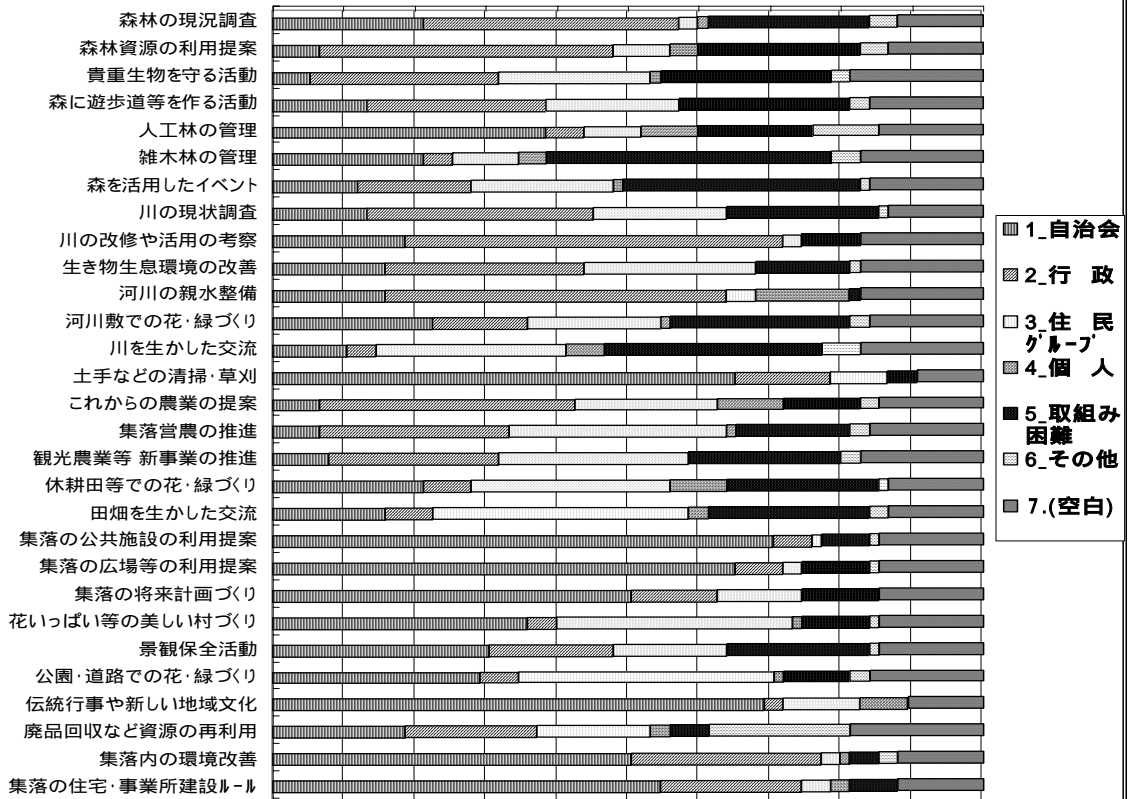


左欄の下方の10項目が、“集落(運営)”関係。



問7 - B 集落活動(今後 - 農住混合集落)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



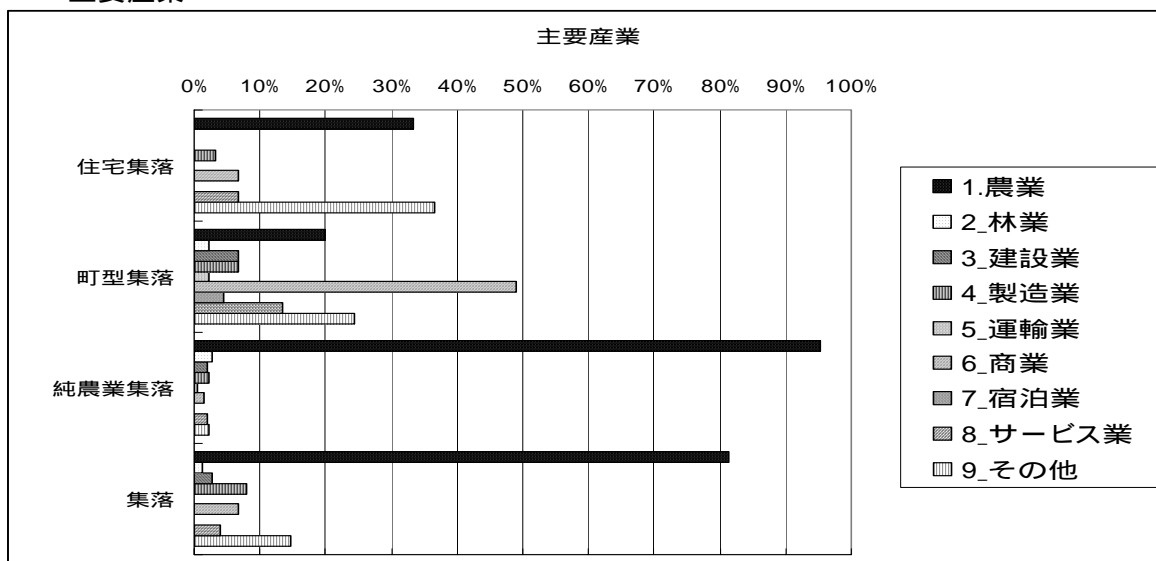
- 8 . 集落のこと、およびあなたご自身のことについて

OnePoint.22 農業系で「農業」、町型で「商業」が主な集落産業

集落の主要産業は、農業系集落では80～90%強が「農業」で、町型集落では「商業」が50%近くではあるが最も多く、また、わずかずつ各種の産業がみられる。

住宅集落では「農業」が30%強あるものの、「その他」が35%強で最も多い。

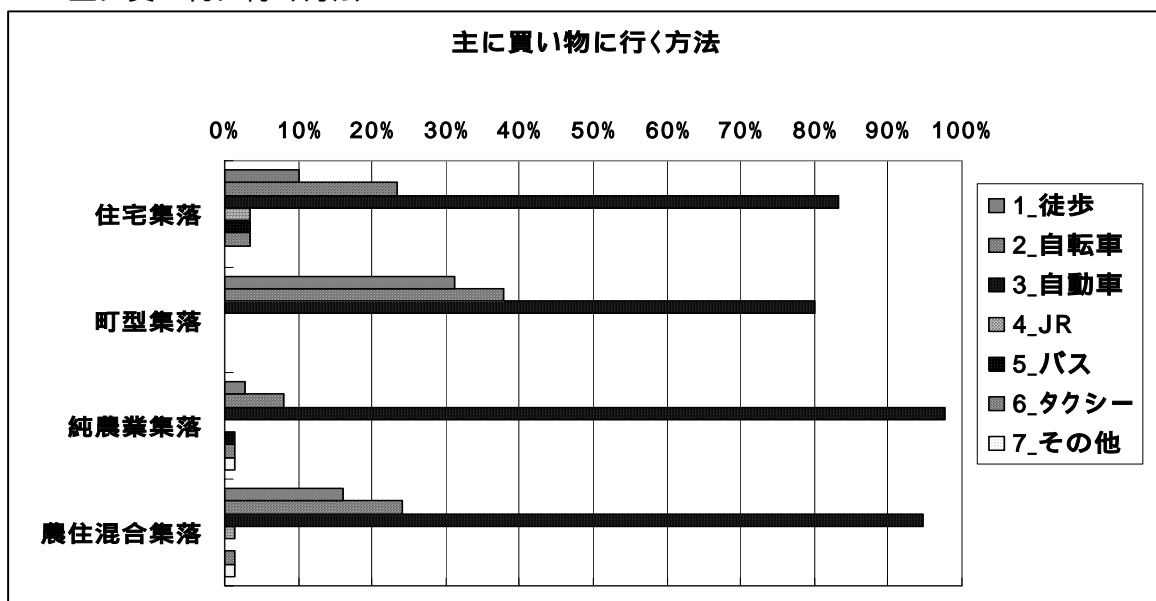
主要産業



OnePoint.23 買い物は、町型集落では「自転車」「徒歩」も

いずれのタイプの集落も「自動車」利用が特に多いが、農業系集落は「自動車」利用が多く、商業施設へのアクセスがよくないことが分かる。町型をはじめ住宅集落・農住混合集落では「自転車」や「徒歩」で行ける距離に商業施設が多少あるようだ。

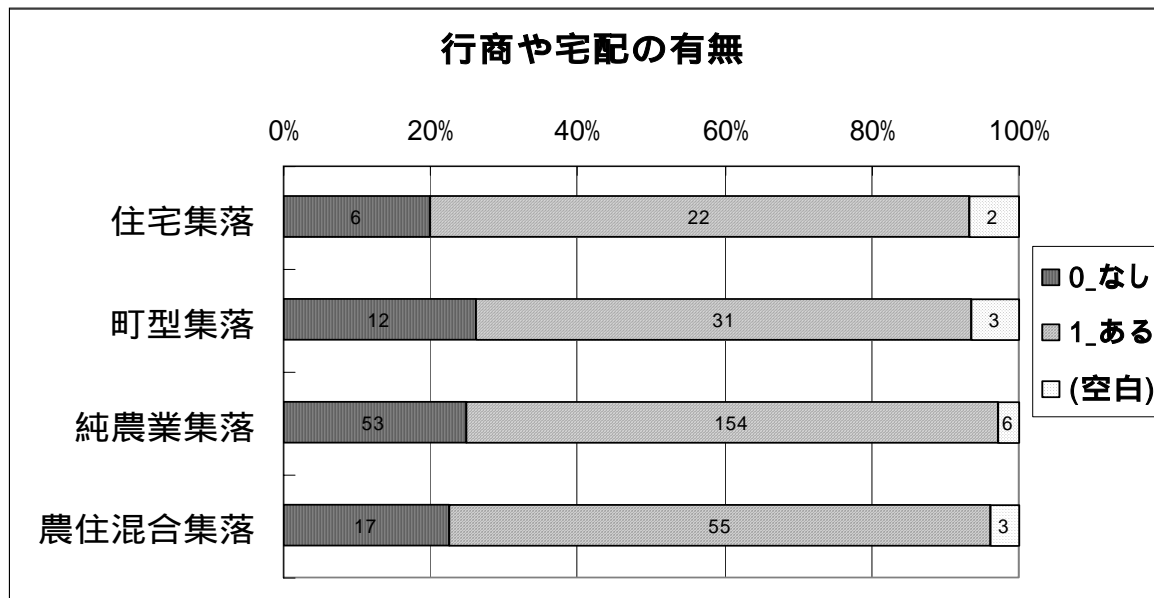
主に買い物に行く方法



OnePoint.24 全集落タイプで、「行商や宅配」を利用

どの集落タイプでもほぼ同様に、「行商や宅配」などの生活支援サービスはあるようだ。

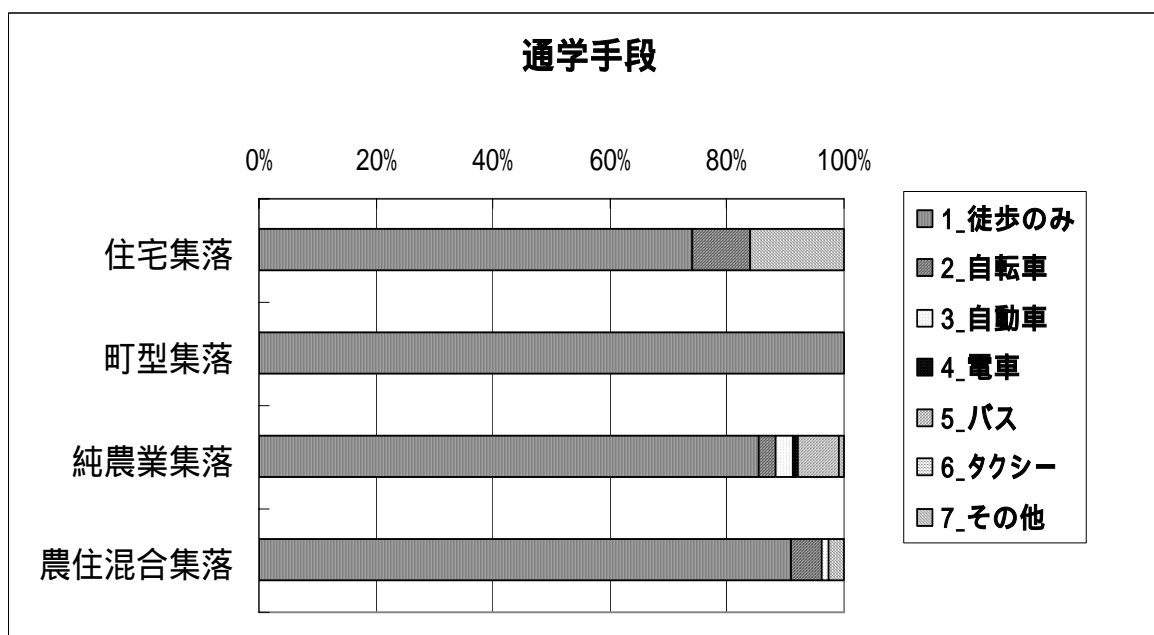
行商や宅配サービス等の生活支援サービスの有無



OnePoint.25 町型集落は、ほぼ全員が「徒歩」通学

町型集落の小学生はほぼ「徒歩」で小学校に行くことができるが、その他の集落タイプは「バス」「自転車」「電車」などをいくらか使っている。

小学校への通学手段



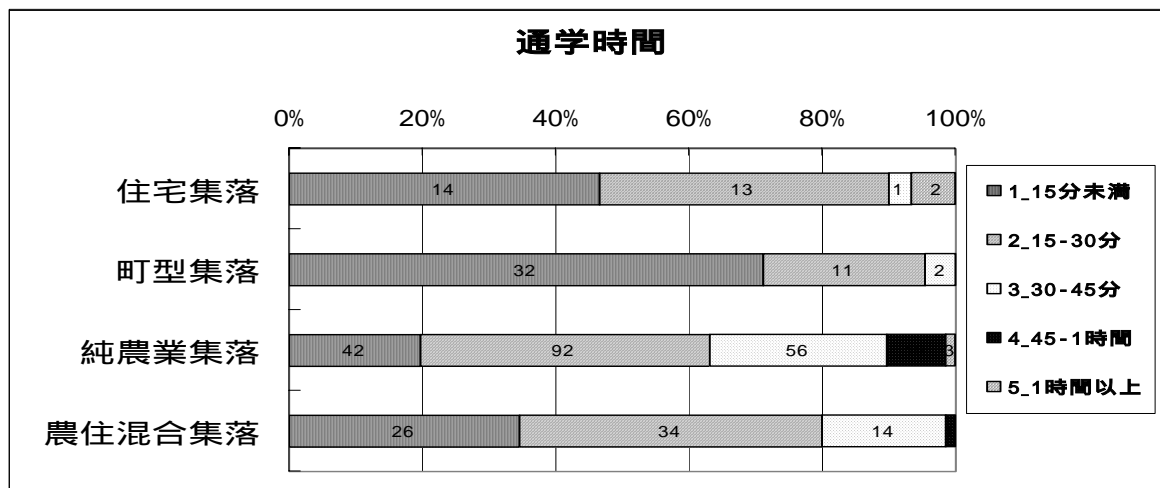
OnePoint.26 農業系集落は、小学校までやや遠く・・・

通学時間は、町型・住宅集落では“30分以上”が5～10%にとどまるが、農業系集落で“30分以上”が20～35%あるなど、相対的に時間がかかる。

集落平均の推定通学時間は、町型集落：13分、住宅集落：19分、農住混合集落：21分、純農業集落：27分で、集落タイプにより2倍程度の開きがみられる。

(「1時間以上」は、67.5分とみなした)

小学校までの平均所要時間



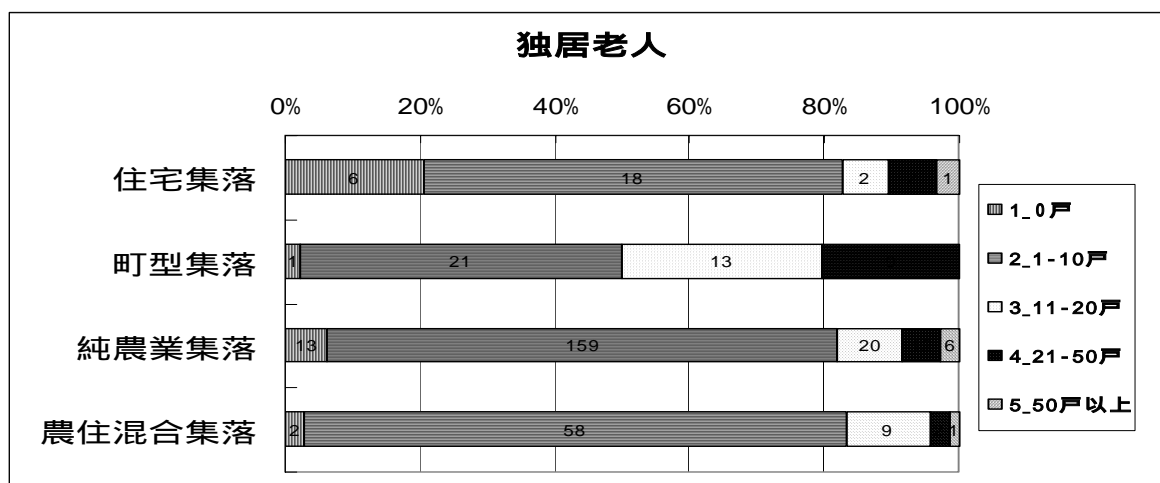
OnePoint.27 純農業集落で、「独居老人」の比率が高い

住宅集落では独居老人世帯がないところも20%あるが、他のタイプではほとんどの集落に独居老人世帯が存在する。

集落タイプごとの世帯数を考慮し「100世帯当たりの推定独居老人世帯数」でみると、純農業集落が17世帯と最も多く、以下、町型集落12世帯、農住混合集落8世帯、住宅集落7世帯となる。集落タイプにより2倍以上の開きがある。

(「50戸以上」は70戸とみなした)

独居老人(65歳以上)の世帯数

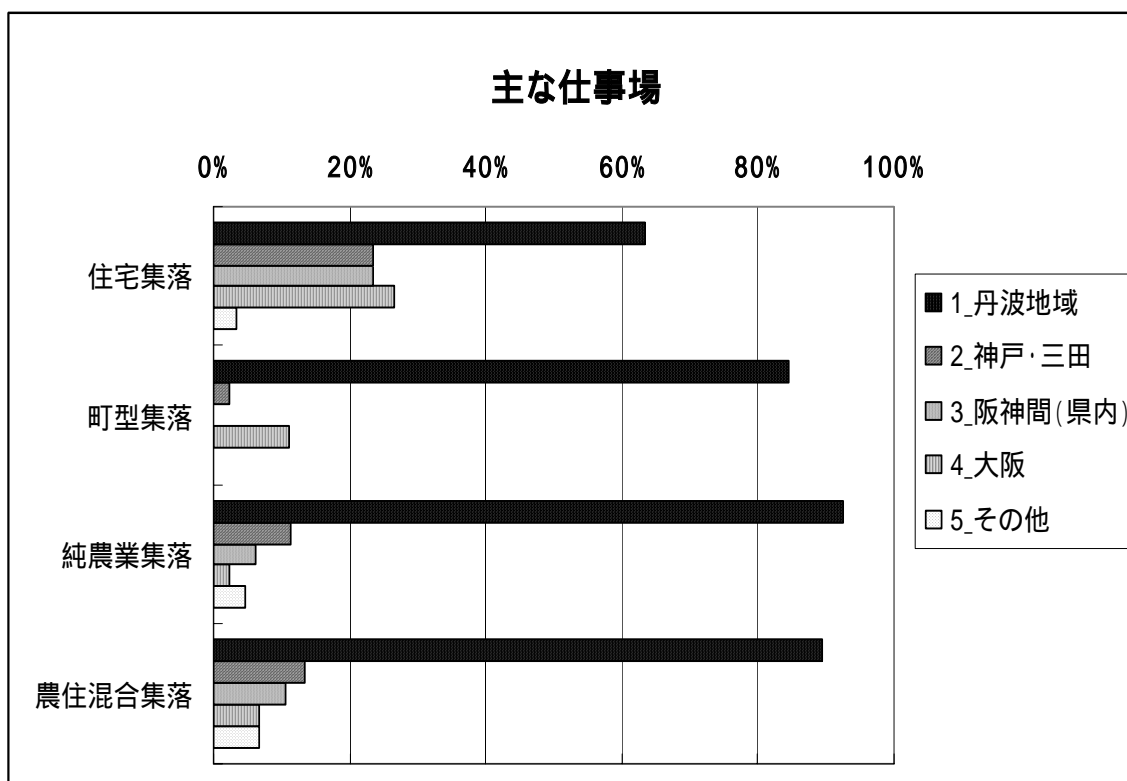


OnePoint.28 住宅集落では、“域外の職場”も多い

町型・農業系集落では80%以上が、主な仕事場は「丹波地域」としている。なお、このうち町型集落では「大阪」が10%程度とやや高くなっている。

一方、住宅集落では「丹波地域」の比率が60%強に下がり、「大阪」「神戸・三田」「阪神間(県内)」が20%強ずつある。丹波地域外へ通勤しやすい交通アクセスの良い場所に、住宅集落が形成されているからだろう。

集落居住者の主な仕事場



【 参考資料 ～ アンケート票 】

丹波地域の集落活性化に関するアンケート

～ 安心安全な集落づくりに関するアンケート ～

***** アンケート記入上のお願い *****

1. このアンケートは、丹波地域の全自治会を対象に実施させていただいています。
なお、一部に農地・農業の質問がありますが、農家がおられない自治会では、飛ばしてご回答ください。
2. 回答方法は、各質問のあてはまる番号に 印を付けて下さい。質問によっては文章を直接記入していただくものもあります。
3. 集落の今後のあり方などの意向をお尋ねしている項目などがありますが、これらを含めて 自治会長さん個人のご意見でご記入ください。
4. このアンケートは全県的な集落問題の調査の一環でもあり、兵庫県及び兵庫県立人と自然の博物館と共同して調査を進めています。
5. 記入していただいたアンケート票は、同封の「返信用封筒」で、12月10日(月)までにご投函ください。

平成19年11月
財団法人 兵庫丹波の森協会
兵庫県・兵庫県立人と自然の博物館
調査協力：篠山市・丹波市

集計結果の公表に関して

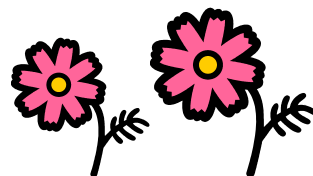
1. 「アンケート結果報告書」の送付を希望される方は、このアンケート票の末尾(9ページの下)の所定の欄に住所・氏名などの「連絡先」をお書きいただければ、来年の春ごろかと思いますが、お送りさせていただきます。
2. アンケートの集計結果では、お名前を書かれた場合でもお名前を公表するなど、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。
3. なお、客観的な事実に関することから(例：4. 地域資源(問4-1、4-2)や末尾の「集落の基礎事項」など)は公表することもありますので、よろしくご理解をお願いします。

お問い合わせ先

〒669-3309 丹波市柏原町柏原 5600

(財)兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所 (担当：重本・横山・中西)

TEL/FAX.0795-73-0933 Eメール：mori-kenkyu@tanba-mori.or.jp



【 1 . 貴集落における様々な問題の発生状況について】

ここでは集落内で起こっている様々な問題を把握することを目的としています。

問 1 . 貴集落では、以下の問題や現象がどの程度、発生していますか？以下の 3 4 項目それぞれについて、「非常に感じる」から「感じない」の 5 段階のうち、いずれかに印をお付けください。

分野	問題の具体的な内容	非常に感じる	やや感じる	普通	あまり感じない	感じない
例)		1	2	3	4	5
生活基盤	1 . 集会所や公民館の維持が困難になってきています	1	2	3	4	5
	2 . 道路や農道の管理が行き届きになってきています	1	2	3	4	5
	3 . 空き家が増えてきています	1	2	3	4	5
	4 . 買い物をするのが不便になってきています	1	2	3	4	5
産業基盤	5 . 若者の仕事が十分にありません	1	2	3	4	5
	6 . 水路やため池が荒廃してきています	1	2	3	4	5
	7 . 耕作放棄地が増えてきています	1	2	3	4	5
	8 . 空き店舗が増えてきています（又は民宿が減少してきています）	1	2	3	4	5
自然環境	9 . 森林や里山が荒れてきています	1	2	3	4	5
	10 . 河川・池・地下水の水質が汚れてきています	1	2	3	4	5
	11 . ごみ等の不法投棄が増えてきています	1	2	3	4	5
災害	12 . 土砂災害がよく発生するようになってきました	1	2	3	4	5
	13 . 洪水がよく発生するようになってきました	1	2	3	4	5
	14 . イノシシやシカなどによる農業被害が深刻です	1	2	3	4	5
	15 . 雪の害がひどいです	1	2	3	4	5
地域文化	16 . 神社や仏閣が荒廃してきました	1	2	3	4	5
	17 . 伝統的な祭りが実施できなくなってきました	1	2	3	4	5
	18 . 地域の独自の文化がなくなってきました	1	2	3	4	5
景観	19 . 棚田や段々畑等の農山村景観が荒廃してきました	1	2	3	4	5
	20 . 茅葺集落や生垣等の集落景観が荒廃してきました	1	2	3	4	5
子ども教育	21 . 子どもの通学に時間がかかります	1	2	3	4	5
	22 . 学校の教育水準が落ちてきていると感じています	1	2	3	4	5
	23 . 後継者がいない家が増えてきました	1	2	3	4	5
住民生活	24 . 空き巣による被害等、犯罪が増加しています	1	2	3	4	5
	25 . 冠婚葬祭等の生活での助け合いが出来るかどうか不安です	1	2	3	4	5
	26 . 災害時における助け合いは難しいのでは、と感じています	1	2	3	4	5
	27 . 病院・診療所が減ってきました	1	2	3	4	5
	28 . 高齢化で車に乗れない人が増えてきました	1	2	3	4	5
	29 . 集落を超えた交流がありません	1	2	3	4	5
	30 . 地域おこし活動が低調です	1	2	3	4	5
	31 . 青年団、婦人会等の活動が困難になってきています	1	2	3	4	5
	32 . 集会でもなかなか意見ができません	1	2	3	4	5
	33 . 1人で役員をいくつも引き受けています	1	2	3	4	5
	34 . 新住民の増加はある一方、自治会未加入戸数があります	1	2	3	4	5

【2．貴集落における土地の使われ方について】

ここでは、「空き家」や「放棄田畑」など、活用されていない土地の実態、およびそれらの活用意向についてお伺いいたします。

問2-1．貴集落における「空き家の戸数」と「放棄田畑の面積」を、おおよそでお答えください。

	戸数、面積
空き家の戸数	戸
放棄田畑の面積	ha

問2-2．「空き家」「放棄田畑」の利活用の有無について、「ある」ものには、、「ない」ものにはでお答えください。

	項目	有無(<input type="checkbox"/>)
空き家	ほとんど使っていない	<input type="checkbox"/>
	お盆や正月などに帰省のため活用している	<input type="checkbox"/>
	イベント時に活用している	<input type="checkbox"/>
	都市住民などに貸している	<input type="checkbox"/>
放棄田畑	放置されている	<input type="checkbox"/>
	定期的に所有者が草刈り等を行っている	<input type="checkbox"/>
	市民農園として他人に貸している	<input type="checkbox"/>

問2-3．「放棄田畑」など、使われていない空き地などの今後のあり方について、どのように考えますか？当てはまる番号**1つ**に 印をお付けください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1．代々の土地であり、使われていなくてもそのままよい 2．そのまま放置していると、近隣に迷惑がかかるので、植林などをし、荒廃させずに自然に帰していくべきである 3．集落の活性化のために、使われていない土地は売り、有効利用をはかる 4．集落の活性化のために、使われていない土地を貸し出し、有効利用をはかる 5．その他(<input type="checkbox"/>) |
|---|

【3．家族および集落の動向について】

ここでは、貴集落で生活する各家庭の子ども達の動向および集落の動向についてお伺いいたします。

問3-1．あなたのお子さんやお孫さんなどの現在の生活場所並びに帰村意識について、それぞれ当てはまるものを**1つ**、以下の中から選び、番号に 印をお付けください。

生活場所	帰村意識
1．同じ集落内で生活している	1．ずっと集落で生活していくと思う
2．同じ集落からは出たが、同一市内で生活している	2．集落が今のままでも、いずれは集落や同一市内に帰ってくると思う
3．隣接市内で生活している	3．集落が活性化すれば、帰ってくると思う
4．神戸や大阪など大都市に住んでいる	4．将来、集落に帰ってくることはないと思う
5．その他(<input type="checkbox"/>)	

問3 - 2 . 血縁関係のある若い方々が集落に戻ってくる条件、あるいは都市住民が集落に移住する条件について、以下の12項目それぞれについて、「当てはまる」「やや当てはまる」「当てはまらない」の3段階のうち、当てはまる番号に 印をお付けください。

	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない
1 . 働く場所があること	1	2	3
2 . 交通の利便性がよいこと	1	2	3
3 . 入居先が用意されていること	1	2	3
4 . 生活関連施設の利便性がよいこと	1	2	3
5 . 住宅周辺の自然が豊富であること	1	2	3
6 . 土地柄や地域の雰囲気がよいこと	1	2	3
7 . 地域の人達との温かい交流があること	1	2	3
8 . 家族との交流があること	1	2	3
9 . 子どもの教育や子育てによいこと	1	2	3
10 . 趣味がかなえられること	1	2	3
11 . 伝統行事があること	1	2	3
12 . 日役などの役割負担がさほどないこと	1	2	3

問3 - 3 . 集落同士の繋がりについてお伺いいたします。以下の項目について、自治会単独で行っているもの、もしくは他の集落と協力しあって実施している項目に 印をお付けください。

項目	自治会単独	近隣の集落	小学校区
例) 神社の祭り			
神社の祭りや管理			
地区の運動会			
地区の文化祭			
空き家の利活用			
市民農園			
雪仕事(雪おろしや雪かきなど)			
山や川の管理			
農作業			
その他()			

問3 - 4 . 集落の今後について、当てはまるものの番号1つに 印をお付けください。

1 . 今の状態で十分集落を維持できると思う
2 . 広域連携(校区での協力など)での助け合いがあれば集落を維持できると思う
3 . 自分達の集落は努力しても維持が難しいと思う

【4．地域資源について】

ここでは、貴集落の地域資源についてお伺い致します。

問4 - 1．集落の活性化を今後も推進する上で、貴集落の「強み」と「弱み」について、それぞれ3つお答えください。

強み	弱み
例) 食べ物うまい(米の味) 人間同士のつながり、人情豊か 等	例) 農業の担い手不足 地域のアピールできていない 等

問4 - 2．集落の主要な自治会活動やまちづくり活動の取り組み(記憶されている範囲で、なくなった活動もご記入ください)、活動の期間、参加者層、その活動の成果をご記入ください。

活動の名称	活動の期間			参加者層					成 果
	昔から継続している	つ今はなくな	ていたが、昔は実施し	やり最近新し	集落居住者	小学校区	丹波地域	近隣市町	
例) 農家民泊									・空き家を利用した都市住民との交流増大・農作物の販路拡大 ・持主の収益にもつながる。
例) ホタルまつり									・駐車料等の徴収により活動資金の確保。・住民の生き物への関心を高まる。 ・河川の浄化や美化にもつながる
A.									
B.									
C.									

問4 - 3．今後、集落産業として新たに取り組んでみたい事業について、以下の中から3つに 印をお付けください。

1．料亭むけなど的高级農水産物の生産	6．空き家の貸し出し
2．黒豆パンなどのオリジナル農産物の開発	7．風景街道などの修景美化の取り組み
3．余剰農水産物の活用	8．魚づかみや映画上映会、音楽会など、遊び機能の検討
4．農家民泊などの都市住民の観光受入れ	9．農林漁業・商業などの経営に関する塾の開校
5．農業・漁業体験などの都会の子ども達の受入れ	10．新たな取り組みは難しいと思う

【 5 . 農地の自己管理について】

ここでは農地の自己管理の取り組みについてお伺い致します。

問 5 - 1 . 貴集落では農地は、10 年後、どうなっていくと思われませんか？ 農用地 と 農用地以外の土地 について、それぞれ当てはまる番号 **1 つ**に 印をお付けください。

<農用地（概ねは、ほ場整備を行った農地）>

- 1 . 農用地のほとんどは、各農家が耕作を継続している。
- 2 . 農用地のほとんどは、委託を受けた中核的な農家が耕作を継続している。
- 3 . 農用地のほとんどは耕作が継続されているが、各農家と中核農家への委託とが概ね半分ずつとなっている。
- 4 . 農用地の半分程度は耕作が継続されているが、残りは耕作されず荒れている。
- 5 . 農用地のほとんどは、耕作されず荒れている。
- 6 . わからない。

<農用地以外>

- 1 . 農用地以外の農地のほとんどは、各農家が耕作を継続している。
- 2 . 農用地以外の農地のほとんどは、委託を受けた中核的な農家が耕作を継続している。
- 3 . 農用地以外の農地のほとんどは耕作が継続されているが、各農家と中核農家への委託とが概ね半分ずつとなっている。
- 4 . 農用地以外の農地の半分程度は耕作が継続されているが、残りは耕作されず荒れている。
- 5 . 農用地以外の農地のほとんどは、耕作されず荒れている。
- 6 . わからない。

問 5 - 2 . 戦後からの農地の利用について、当てはまる番号**すべて**に 印をお付けください。

- 1 . スギやヒノキなどの植林をしている区域がある。
- 2 . クリやツバキなどの植林をしている区域がある。
- 3 . その他（)

問 5 - 3 . 農地に関して、あなたはどのような支援を望まれますか？特に当てはまるもの **3 つ**に 印をお付けください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 . 新規農業従事者の育成 | 5 . 集落営農の取り組みに関する指導や支援 |
| 2 . 農産物の販売ルートの実現 | 6 . 集落再生に関する勉強会の運営 |
| 3 . 貸し農園の指導 | 7 . 農地の自然再生に関する専門的知識の提供 |
| 4 . 農地転用の指導 | 8 . その他（) |



【6．集落における自治会組織や小学校区運営について】

ここでは、主に集落における自治会組織についてお伺いたします。

問6 - 1．今後、自治会組織を活性化する上で必要な取り組みは何ですか。特に当てはまる番号**3つ**に印をお付けください。

1．次期役員等の人材育成	7．30代・40代の役員登用
2．女性の役員登用	8．PTA等との一層の連携
3．行事や集会頻度の軽減	9．NPO等関係組織との連携
4．会議・運営の効率化	10．外部からの干渉軽減
5．隣接自治会との統合化	11．地元企業関係者の自治会活動への参加
6．住民の自治に関する意識改革	12．その他()

問6 - 2．集落を活性化し、より一層、住みよい環境にしていく上で、自治会として必要な取り組みは何ですか。特に当てはまる番号**3つ**に印をお付けください。

1．三世代交流の推進	8．集落の歴史や自然等のふるさと学習
2．小学校との連携的取り組み	9．NPO等との連携
3．里づくり協議会等の設立	10．農地等の健全な維持管理
4．特産開発	11．高齢者のいきがいづくり
5．ホームページ等による集落の情報発信	12．集落出身者への集落情報の提供
6．人材育成	13．その他()
7．都市住民との交流	

問6 - 3．子どもを含めた校区の活性化のために、貴集落が小学校と連携して取り組みたい、または取り組むべき方策は何ですか。特に当てはまる番号**3つ**に印をお付けください。

1．郷土の自然や歴史・祭り等の学習	6．通学路の防犯等の安全性の向上
2．運動会や盆踊り等の共同イベント	7．小学生への総合学習フィールドの提供
3．祖父母等の生活の知恵や経験知識の伝承	8．地域の魅力情報誌の共同発刊
4．小学生の里山体験や農業体験への協力	9．避難所である小学校とともに危険・防災マップ等の作成
5．花づくりや緑化、清掃などの修景美化	10．その他()

問6 - 4．10年後、地域の小学校はどうなっていると思われますか？当てはまる番号**1つ**に印をお付けください。

1．維持されていると思う	2．なくなっていると思う	3．どちらともいえない
--------------	--------------	-------------

【7. 集落の活動について】

ここでは、貴集落で実施されている活動についてお伺いします。

貴集落では、次にあげる地域づくり活動を行っていますか？ それぞれの活動内容について、A欄、B欄のそれぞれの行の番号1つずつに 印をお付けください。

活動内容	A欄 現在、主に誰が取り組んでいますか？						B欄 今後、主に誰が取り組むのがよいですか？								
	1 自治会	2 行政	3 住民グループ	4 個人	5 活動していない	6 その他	1 自治会	2 行政	3 住民グループ	4 個人	5 取り組みは困難	6 その他			
森	森林の現状調査(動植物の生息状況、人々の利用状況等)	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	森林資源の利用方法についての提案	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	巨木、野鳥など貴重な生物を守る活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	森の中に遊歩道や休憩所をつくる活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	共有林でのスギ、ヒノキなどの人工林の管理(枝打ち、間伐)	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	共有林での雑木林の落ち葉かきなどの管理	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	森を活用したイベントなどの交流活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
川	川の現状調査(動植物の生息状況、人々の利用状況等)	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	川の改修方法、活用方策についての考察	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	小川などの生き物の生息環境を改善する活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	親しみやすい河川をつくるために河川敷・護岸等を整備する活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	河川敷での花づくり・緑づくり活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	魚釣り大会など川を活用した交流活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	河原や土手の清掃や草刈りなどの維持管理作業	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
田畑	これからの農業のあり方についての提案	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	集落営農の推進(農業に関する共同事業の推進)	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	観光農業など新しい事業の推進	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	あぜ道、休耕田等での花づくり・緑づくり活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	農業体験など田畑を活用した交流活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
集落	集落内にある公共施設(集会所、公民館、体育館、ホールなど)の形態、設備、利用方法を検討し提案すること	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	集落内にある公園、広場などの形態、設備、利用方法を検討し提案すること	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	集落の将来計画づくり(村おこし、まちなみづくり、コミュニティづくりなど)	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	花いっぱいなど美しいむらづくり活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	家並みや道筋などの景観を保全する活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	身近な公園や道路での花づくり・緑づくり活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	祭りなどの伝統行事や新しい地域文化を育てる活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	廃品回収など資源の再利用活動	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
	集落内の環境改善(排水・ゴミ処理、リサイクル等)に関わるルールづくり	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()
集落内に住宅、事業所などを建てる際のルールづくり	1	2	3	4	5	6	()	1	2	3	4	5	6	()	

【 8 . 集落のこと、およびあなたご自身のことについて】

最後に、あなたご自身のこと、集落の基礎事項、集落活性化に対する提案やご意見がございましたら、自由にご記入いただきますようお願い致します。

< 集落名について >

旧町名		集落名	
-----	--	-----	--

< 集落の基礎事項について (当てはまる番号に 印をお付けください) >

主要産業	1 . 農業 2 . 林業 3 . 建設業 4 . 製造業 5 . 運輸業 6 . 商業 (飲食店を含む) 7 . 宿泊業 8 . サービス業 9 . その他 ()		
	主要品目 :		
主に買い物に行く方法	1 . 徒歩 2 . 自転車 3 . 自動車 4 . J R 5 . バス 6 . タクシー 7 . その他 ()		
行商や宅配サービス等の生活支援サービスの有無	1 . ある 2 . ない		
小学校への通学手段	1 . 徒歩のみ 2 . 自転車 3 . 自動車 4 . 電車 5 . バス 6 . タクシー 7 . その他 ()		
小学校までの平均所要時間	1 . 15 分未満 2 . 15 ~ 30 分 3 . 30 ~ 45 分 4 . 45 分 ~ 1 時間 5 . 1 時間以上		
独居老人 (65 歳以上) の世帯数	1 . 0 戸 2 . 1 ~ 1 0 戸 3 . 1 1 ~ 2 0 戸 4 . 2 1 ~ 5 0 戸 5 . 5 0 戸以上		
集落居住者の主な仕事場	1 . 丹波地域 (丹波市・篠山市) 2 . 神戸・三田 3 . 阪神間 (県内) 4 . 大阪 5 . その他 ()		

< あなたご自身のことについて (「 アンケート結果報告書 」 を希望される方のみご記入ください) >

連絡先	住 所	〒		
	お名前		TEL	

(裏面へ続く)

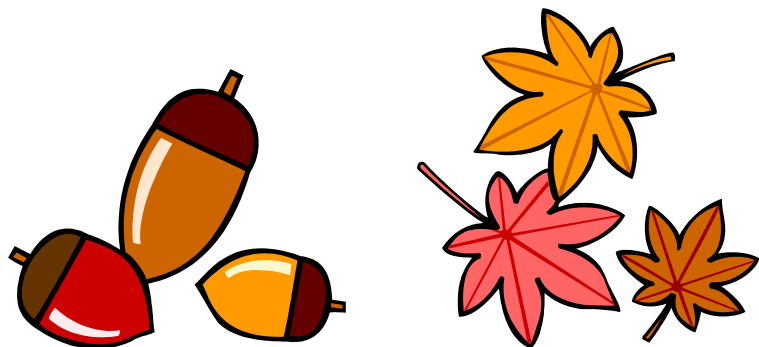
< 集落で困っていることがありましたらご記入ください >

< 集落を維持し活性化させるための提案、ご意見をお聞かせください >

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート票は、

12月10日(月)までにご投函ください。



集落を元気に!

丹波地域の集落活性化に関するアンケート調査報告書

第 部：篠山市・丹波市別の状況 / 第 部：集落タイプ別の状況

平成 2 1 年（2009）3 月

発行 (財)兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所
協力 兵庫県立人と自然の博物館

連絡先：(財)兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所
〒669-3309 丹波市柏原町柏原 5600
電話・FAX:0795-73-0933
Eメール：mori-kenkyu@tanba-mori.or.jp